

## 第2回 蒲郡南地区（蒲郡中学校区）

### まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

日時：平成30年8月19日（日）

午後1時30分～午後4時30分

会場：蒲郡中学校

主催：蒲郡市

#### プログラム

開会	1：30
事務局から説明	1：35
・ワークショップの趣旨・目的 ・進め方とスケジュール ・前回ワークショップでのご意見 ・ご質問等への回答 ・蒲郡南地区の公共施設をとりまく課題 ・課題解決に向けた視点の整理 ・本日の検討内容	
（休憩）	2：20
グループ討議	2：30
・蒲郡南地区の課題 ・課題解決の方策	
発表	4：00
事務連絡	4：25
閉会	4：30

#### <目次>

- ・ワークショップの趣旨・目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ・進め方とスケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ・第1回ワークショップの結果概要（案）・・・・・・・・・・・・ 7
- ・第1回ワークショップふりかえりシートご意見・・・・・・・・・・ 16
- ・ご質問等への回答・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
- ・データで見る蒲郡南地区の現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
- ・課題解決に向けた視点の整理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
- ・第1回ワークショップでいただいたご意見の整理・・・・・・・・ 49
- ・本日の検討内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
- ・コミュニティ施設の複合化・集約化事例集・・・・・・・・・・・・ 別冊

## ワークショップの趣旨・目的

蒲江市では、急激に変動する社会情勢に対応した公共施設の機能配置や魅力向上を図るとともに、将来に大きな負担を残さない行財政運営を実現するために、公共施設マネジメントの取り組みを進めています。

これまでに市民の皆様のご意見を伺い、「蒲江市公共施設マネジメント基本方針」と「蒲江市公共施設マネジメント実施計画」を策定し、今後の公共施設の整備を進めるための道筋を示しました。

その計画では、小中学校、保育園、児童館及び公民館（地区利用型施設）の再編にあたっては、中学校区単位で住民の皆様のご意見を伺い、施設再編計画となる「地区個別計画」を策定することとしています。

このワークショップは、「蒲江市公共施設マネジメント基本方針」を踏まえ、これから起こる様々な社会の変化や地域の課題に対応した既成概念にとらわれない、より良い公共施設の配置や使い方を考えるために開催するものです。

### 蒲江市公共施設マネジメント基本方針

- ①適正化 将来を見据えた維持可能な施設規模に適正化します。
- ②効率化 効率的・効果的な維持管理を実施します。
- ③魅力 社会変化に対応した魅力ある公共施設へ再編します。
- ④安全性 計画的な保全により公共施設を安全に維持します。
- ⑤実行力 公共施設の再編に向けて実行体制を構築します。

市は、皆様のご意見を反映させた蒲郡南地区（蒲郡中学校区）の「地区個別計画」を策定し、施設の再配置を進めることで、“住んでよかった”“住み続けたい”と思えるような誇りと愛着を持てるまちづくりを目指します。

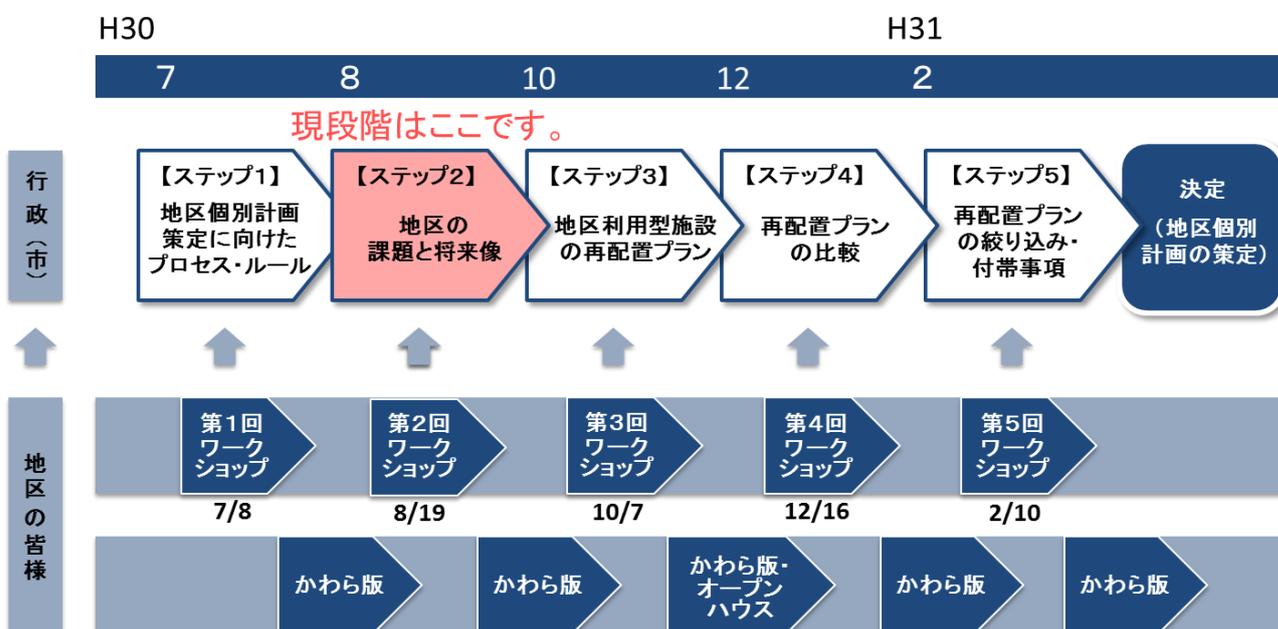
## 進め方とスケジュール

### 1 検討のステップ

市は、ワークショップ等で得られた成果をもとに、「地区個別計画」の策定に向けて次の5つのステップに分けて、段階的に検討を行います。

- ステップ1** ワークショップ等を通じ、地区個別計画をどのような手順で策定するか確認します。
- ステップ2** 地区にどのような課題があるか確認して問題意識を共有します。
- ステップ3** 課題解決に向けた方策について共有し、複数の再配置プランを検討します。更に、複数の再配置プランを比較するための評価の視点について検討します。
- ステップ4** 複数の再配置プランをステップ3で検討した視点に基づき評価し比較します。
- ステップ5** 再配置プランを絞り込むとともに、運営面での工夫等の付帯事項について整理します。

### 2 スケジュール（予定）



### 3 コミュニケーション

「地区個別計画」の策定に向けた検討では、地区の皆様と様々なコミュニケーションを進めていきます。

- ワークショップ
- オープンハウス（パネル展示型説明会）
- かわら版



#### 【オープンハウス（パネル展示型説明会）】

地区の住民の皆様が集まる施設などでパネルを利用し、ワークショップでのご意見や検討された再配置プランなどの内容を広報します。

どなたでも立寄ることができ、住民の皆様からワークショップで検討されている内容についてのご意見をいただきます。

#### 【かわら版】

地区の各世帯に配布するチラシです。ワークショップでのご意見や検討された再配置プランなどをお知らせするとともに、ワークショップで検討されている内容についてのご意見を募集します。

## 4 ワークショップの概要

- ワークショップは、平成31年2月までに5回開催します。
- 原則として土曜日・日曜日または祝日に開催します。
- 会場は、原則として地区内の学校または公民館とします。
- 事務局は、蒲郡市総務部財務課が担当します。
- ワークショップには、公募でご応募いただいた方が参加します。
- 同じ参加者に継続してご参加いただき、議論を深めていきます。
- ワークショップでは、参加者の皆さんにグループ討議で自由にご議論いただきます。
- 一般の傍聴者や報道関係者が会議を傍聴することができます。

## 5 ワークショップの進め方

- グループ討議の運営では、円滑な議論のため、司会進行を第三者的立場のファシリテーターがお手伝いします。
- ワークショップでは、グループごとの議論を中心に進め、各回ワークショップの最後に各グループの議論の結果を発表します。
- グループ討議の議論は要点をまとめて記録します。これは個人の発言が特定されるものではありませんので、自由で前向きな議論をお願いします。
- 市に対する要望・陳情の場ではありません。
- ワークショップの様子をホームページ等で公表するなど情報発信を行います。会場内で録音・撮影する場合がありますことをご了承ください。

## 6 ワークショップの成果

- ワークショップでのご意見を踏まえて複数の再配置プランを評価・比較し整理します。
- 整理した内容は、市が「地区個別計画」を策定する際の基礎情報として活用します。

## 7 ファシリテーターのご紹介

～こんにちは。皆さんの議論を円滑に進めるために、第三者的立場から議事進行やとりまとめをお手伝いします。どうぞよろしくお願いいたします～

しのだ 篠田	さやか	オフィスキュア
おぐち 小口	ゆうこ 優子	有限会社 まち処計画室
ふじもり 藤森	みきひと 幹人	株式会社 対話計画
いなば 稲葉	ひさゆき 久之	フリーランス・ファシリテーター
いけだ 池田	てつや 哲也	一般社団法人 地域問題研究所
こなか 小仲	たかひろ 貴宏	NPO 法人 まちの縁側育くみ隊

- 話し合いに積極的に参加しましょう
- 自分の考えを率直に述べましょう
- 前向きな思考で発言しましょう
- 評論家ではなく当事者として関わりましょう
- 他の参加者の意見に耳を傾けましょう
- 気持ちよく運営できるよう協力しましょう
- 議論や運営に貢献する姿勢を讃えましょう

(必要があれば追加しましょう)

## 第1回ワークショップの結果概要（案）

### 1 計画検討やワークショップの進め方について

#### 1) 公共施設マネジメント実施計画の考え方

- 将来的に人口が減少するという理由で公共施設を減らすと、さらに人口が減ってしまい先細りになってしまう。人口を増やすことを考えた公共施設のあり方を検討したい。
- 駅前地区は人口が必ずしも減少するということでもないはずである。また、人口密度を踏まえると、現状の保有面積が多いとは言えないのではないか。必要な施設はあるので、単純に施設を減らす、3割床面積を縮減するといった議論ではなく、各施設の機能や役割を見極めながら存続の有無を考えていきたい。
- 将来的に市の人口が減少するので公共施設を減らす必要があることは理解できたが、市の中心部であり、津波や液状化の影響も心配ない本地区は、既に宅地開発されている場所もある。市全体と人口減少の度合いも異なるだろう。このことから施設が多いのは当然のことであり、一律に3割縮減という考え方には違和感がある。
- コスト削減を大前提とした検討は避けて、将来の蒲郡南地区の地域づくりのためになる話合いをしていきたい。
- 市全体で公共施設を3割縮減する方針が妥当な考えなのかを理解するため、その算定の根拠を示してほしい。
- 人口が今後3割減るのだとすると、公共施設の面積も3割以上減らす必要があるのではないか。
- 地区個別計画は、いつ実行されるのか。10年後か30年後かによって考え方や優先順位が異なってくる。
- 市全体だけでなく、地区ごとの正確なデータ（例：高齢者数や児童生徒数、

## まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

施設ごとの支出や収入など）や情報を出してもらい、蒲郡南地区や地区内の各地域の現状や課題、歴史的背景やこれまでの経緯を踏まえて議論を進めたい。

### 2) 地区個別計画策定に向けた検討の進め方

- 中学校区ごとで公共施設の再編を考えるとということだが、学校区ごとに検討した再編計画を市全体としてひとつに合わせた時に、果たして整合性やバランスのとれた計画になるのかが心配である。
- 蒲郡南地区は小学校が3校あり、公共施設のなかで大きな割合を占めている。各地区で一律に公共施設を3割縮減することが絶対だとしたら、この地区は小、中学校の統廃合を前提に話を進めなくてはならない。統廃合を考える前に現在の学校の空教室の利用のあり方を検討するなどして、統廃合をしないで済む方法を探りたい。
- 全市利用型施設は、今回のワークショップで検討する施設の対象外になっているが、生きがいセンターや生命の海科学館などの全市利用型施設は、地区利用型施設としての機能を担っていたり、今後、担う可能性も出てくるだろう。全市利用型施設のなかでも地区利用型施設の機能や配置に影響を及ぼすであろう施設については、併せて検討対象とした方が良いのではないか。
- 全市利用型施設は、今回のワークショップで検討する施設の対象外になっているが、災害時の全市利用型施設の位置づけや活用について鑑みながら、地区利用型施設の機能や配置を検討する必要があるだろう。あわせて、全市利用型施設の市の考え方や方針も示してほしい。
- 府相公民館の移設を検討した際は、移転先をどこにするのかに集中して検討してしまったように感じている。配置や組合せだけを検討して「仏作って魂入れず」にならぬように、その施設でどのような活動をするのかなど、

## まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

ソフト面も併せて検討する必要があるだろう。

- 府相公民館が竹島小学校敷地へ移設され、竹島小学校との複合施設として建設されることが決定していたことを初めて聞いた。これまであった市民センター機能がなくなる理由も含めて、決まった経緯やその理由をきちんと地元住民に説明してほしい。また、周知徹底をしてほしい。
- 蒲郡中学校区は広いので、蒲郡南部小学校区と竹島小学校区は1つのエリアと考えても良いが、東部小学校区は少し離れているため別のエリアという認識ではないか。東部地区として結束しているところもある。
- 地区にとって公共施設の機能や配置は、防災の視点でも重要なことである。避難所や防災倉庫の位置、また、防災備蓄品の整備状況などを把握した上で、検討していきたい。
- ワークショップ参加者の意見や検討結果を踏まえるだけでなく、実際に検討対象となっている公共施設（学校や保育園など）の運営を担う現場スタッフの意見も聞いた上で複合化や統廃合等、検討する必要がある。
- ワークショップ参加者だけでなく、ワークショップに参加していない高齢者の意見も聞いてほしい。その際には、老人クラブなど既存の活動や、各地区の集会所に出向いたりするなどして、高齢者の意見を聞く工夫が必要である。

## まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

### 3) ワークショップの進め方

- ワークショップの検討内容は、オープンハウス（パネル展示型説明会）やかかわら版配布なども実施しながら、できるだけ広く蒲郡南地区の方々に知らせてほしい。
- このようなワークショップのようなまちづくりについて話し合う場に、今後増えるであろう高齢者の参加が少ないのが気になる。もう少し参加があった方がよい。
- ワークショップでは、各公共施設の機能や役割、規約や制約、管理体制、築年数や耐震補強の状況などを理解した上で、検討に入りたい。情報提供だけだとなかなか理解ができないので、説明をしてほしい。また、専門用語などは参加者にもわかりやすい表記や説明をお願いしたい。
- 施設や機能をただ一緒にすればよいということではなく、その施設を複合化や統合することで現在の利用者がどのような影響を受けるのか、メリット・デメリットを整理した上で検討していきたい。
- 府相公民館については、既に建設検討委員会と市の協議が重ねられ、竹島小学校敷地への移設と竹島小学校との複合施設として建設される方針があるため、今回は前提条件として検討を進めることになっているが、本来ならば地区利用型施設として整合を図りながら一体的に検討するべきものであると思う。

## 2 地区のまちづくりや公共施設について

### 1) 地区のまちづくりの方向性

- 公共施設マネジメントについては、既に策定されている「まち・ひと・しごと総合戦略」をはじめとした、市の上位・関連計画を把握し、まちづくりの視点を持って検討する必要がある。
- 子育てしやすく、暮らしやすいまちを目指せば、人が移り住んでくれるようになると思う。
- 現在の課題だけでなく、中長期的、将来的な地域の課題を想定し、課題解決のための方向性を検討しながら議論を進めていきたい。

## 2) 公共施設の現状や今後について気になること

### ■ 公共施設全般

- 府相公民館が竹島小学校との複合施設とすることを前例として、今後、他の公民館と小学校も複合化をはかれば、公共施設を減らすことができ効率的である。他の施設は府相公民館と竹島小学校のように距離もなく、やりやすく良いのではないか。
- 児童館や小学校、小学校や保育園等の関連する施設は、隣接していたり、連携しやすい位置にあると利用者にとっては便利で効率性を高めることができる。子育てしやすい、生活しやすい地域につながるのではないか。
- 子育て機能を持つ施設や、高齢者が利用する施設を複合化すれば、新たな交流が生まれて相乗効果につながる。居住者も増えるのではないか。
- 公共施設と民間施設が担う役割を整理した上で、場合によっては、公共施設の管理・運営を民間に任せることも検討し、民間事業者と連携をとることも考えてもよいのではないか。また、学校の空き教室等を活用して、人が大勢集まるような仕組みをつくることで、収入につながるようなことも検討していきたい。
- 全体的に公共施設の情報や案内が不足している。地区外からの転入者は公共施設の機能や使い方をわからない人もいるだろう。利用しやすくするための情報提供や工夫をしていく必要がある。
- 地区利用型施設の再編については、地区のまちの状況（変化）、小中学校の空き教室や各公共施設の利用率等の現状を把握し、さらには地区内に影響を及ぼすであろう全市利用型施設の配置の方針を踏まえて検討をしていきたい。
- 公共施設マネジメントの取組みをすることで、公共施設への移動が不便になるエリアに居住する方や高齢者に向けては、コミュニティバスを走らせるなどして利便性を保つなど、あわせて公共交通のあり方も検討する必要

がある。

- コミュニティバス等の公共交通について検討する際は、ただ走らせるということではなく、再配置する施設のなかでも特に人が集まる施設や高齢者が集う場所を考えた上で、路線を検討していきたい。
- 公共施設は全般的に駐車場が不足しており、駐車できずに施設を利用できないという問題も発生している。
- 公共施設が集中すると、道路渋滞が生じて交通事故の危険性が増すのではないかと心配である。

#### ■ 小学校・中学校

- 蒲郡南地区は、公共施設のなかで学校の占める割合が高い上に、今後、人口減少に伴い児童数、生徒数の減少も予測される。学校の統廃合等で適正な規模にしていくことは、公共施設マネジメントの視点からも教育的視点からも必要ではないか。
- 小中学校の児童生徒数の推移だけでなく、将来の増減見込みを把握した上で、統廃合も含めた小中学校のあり方を検討したい。
- 竹島小学校に府相公民館が移設し複合施設となることで、不特定の人たちが施設に出入りでき、防犯面での不安がある。学校にその他の公共施設を複合化する際は、安全性が保たれるよう、十分に配慮してほしい。
- 行政区と学校区が異なることで、所属するコミュニティも学校と生活圏で変わってしまい、子どもに負担がかかっているのではないか。別の小学校に通う子どもたちが地元の行事や子ども会に参加しにくい雰囲気を感じることがある。
- 行政区と学校区が異なることで、子どもに負担がかかっていると考えるのは、親世代や地域住民である。子ども同士はすぐに打ち解けているようだ。
- 竹島小学校区に三谷地区の一部が含まれているが、学校区を検討する際

## まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

に、歴史や文化的な背景への配慮が足りなかったと思う。

- 学校区については、子どもが通学で負担にならないかななどを第一に考え、子どもを中心として検討するものだと思う。
- 学校の授業や部活動などの教育の現場に、もっと市民に関わってもらうことが子どもたちの教育にも良い影響を及ぼし、市民のいきがいにもつながると思う。

### ■ 保育園

- 府相保育園、三谷西保育園は、いずれも津波浸水想定区域内に位置していることから、災害時に危険である。統廃合をした上で、例えば、西田川公園付近のような安全な場所に移ったらどうか。

### ■ 公民館

- 働き盛りの若い世代は、日頃、公民館がどのような用途で利用されているのか、どのようにすれば利用できるのかがわからない。また、運営側からすれば、若い世代が公民館でどのようなことをしてほしいのかがわからない。高齢者の利用だけでなく、若者をはじめとした多世代に集ってもらうためには、マルシェの開催などソフト的な展開も工夫しながら取組んでいく必要がある。
- 公民館の利用については、夜間利用ができたり、市の窓口業務を対応するなど、もう少し自由に柔軟に利用できるように制度を見直しし、利便性が増せば利用率もあがるのではないか。
- 府相公民館は、南部市民センターとしての機能もあり貸館業務も行ってきたが、移設によりその機能が失われてしまう。貸館機能をどのように維持していくのかを考えていきたい。
- 公民館については、利用者数や収入の状況などを踏まえて配置や規模を検

討する必要がある。

■ 児童館

- 児童館は、平日は母子で利用ができ、土曜日は母親不在時に父子でも訪れて子どもを遊ばせることもできる。子育て世帯にとって、児童館は重要な施設である。

■ その他

- 西部小学校は、比較的空き教室もあり、読み聞かせなどの市民活動も盛んで周辺環境も静かである。例えば、市立図書館の機能を移設し、図書館跡地は別の機能を検討したらどうか。

3 その他

- 竹島小学校に府相公民館が移設されるということは、小学校は統合されないということだと思い安心した。また、竹島小学校について三谷地区でも検討するという点についても特に問題ないと思う。

## 第1回ワークショップ ふりかえりシートご意見

### 1 今日の議論で良かったこと

- 多くの意見がでたこと。
- 色々な意見が出て良かった。
- グループ内の話し合いで、いろいろな人の意見が聞けて参考になった。
- 他の方の意見を聞いた。
- いろいろな角度からの意見が聞けてよかった。
- いろいろな立場の方の意見が聞く事が出来ました。
- 皆さんの意見をたくさん伺えて良かったです。
- 皆様の意見が出て良かった。
- 皆さんが思っていることや考えと自分の考えとの相違がみえて良かった。
- 地区総代を務められた方等、地域に深く関わって来られた方のご意見を聴くことができたのは貴重な経験でした。
- いろんな世代の話が聞けてよかった。
- 年齢層の違う人の意見を聞けて良かった。
- 初めて聞く内容や年代別の意見が聞けた事は良かったと思います。
- 幅広い年齢層の方々の意見があったことで、蒲郡市で生活するに当たり、その年代層別のメリット・デメリットを发表し合えたことだと思います。
- 幅広い世代の方と話し合いができていい機会になった。いろいろな観点での「がまごおりのあり方」を考えることができた。
- 学区内の他地区の若い方の意見が聞け有意義でした。とても中身の濃い議論の時間であったと思います。
- いろいろな意見が聞けました。小学校区が異なると、感じていることが違うということもあり、他地区の事情の認識ができました。
- 地域別で考え方の違い、問題点が浮きぼりになって楽しかった。

## まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

- いろいろな地区の方がいらしたので自分の住む地区以外の事が良くわかった。
- 地区との温度差がある事が理解出来た。
- 自分の住んでいる東部小地区以外の事を、蒲南・竹島地区の方々から聞いて良かったです。
- 市の将来、地域の将来について色々と皆様が考え方があったことが理解できた。また、皆一生懸命考えている機会であったと思う。
- 知っているようで知らない事が多くあり、とても勉強になりました。
- 知らなかった事が知れた事
- ディスカッションなどは楽しく次回も参加したいと思った。
- 役職をもった方が多くいたので、話し合いがスムーズだった。ただ逆に、これはこうだという雰囲気があるのかも。
- 皆さん良く考えていて感心しました。地区の立場からしか言えませんでした。
- 公共施設の将来だが、簡単に考えるのではなく深い事を考えてこそだと思った。
- 前提条件の部分から議論することができた点。ただ、みんなグループ議論をやる上でもう少しテーマについて話をすべきだと感じた。
- 多くのみなさんが、3割削減ありきに疑問をもっておられること。
- 余りもりあがらなかった。市全体の vision がない。

## 2 内容について言い足りなかったこと

- 前提条件の詳かな資料・説明が欲しかった。
- 時間がもう少し欲しい。
- 全員にいろいろしゃべらすべき
- 公民館とまちづくりと言う題で、具体的な問題が浮かばず、意見が出なかった。
- 公民館の話だけでなく、保育園の話もしたかった。
- ふそうの話し長いから、やめてほしい
- “3割”という目標は難しい。そこにとらわれるのではなく、現状の施設の使われ方などを考慮して、少しでも床面積を縮減できるようにというくらいで考えた方がいいと感じた。
- 現実人口減の為、3割カットはわかるが、人口増をもっと考えたらどうか。
- 維持・更新のあり方について時間がなかった
- 地区の古い体質の方々をどうして変えていくのか？
- 各学校の人数について、今後の様子をきかせてほしい。
- 次回のために蒲中学区に特化した資料を提供して頂きたい。でないと検討が進めないと思われます。

3 今日のワークショップの進め方について

- こんな進め方で満足するような結果が出るのかな
- 進め方が大変難しいと感じます。宜しくです。
- 大きな考え方の中でやはり何年くらい先のイメージかが分かりにくかった。
- 議論の目標を理解させる
- 今日話し合う事が少しわかりにくく、ぼけてしまった様に思います。
- 話し合う事、次回は課題のモチよりでしょうか。この事を最後に言っておいた方が、ぼけないかなと思いますが。
- 公共施設 3 割減を念頭に進めることを疑念に抱かれている方々が多かったように感じました。
- 市の基本計画は？大筋を明確にして個別のワークショップにすべき。
  1. 体育館・市民病院・市民会館・消防署
  2. 小中学校の統廃合
  3. ハザードマップ
  4. コミュニティ BUS
- アバウトすぎてたので何か先が見えそうなワクワクした考え方を次回はしたいです。(今回は後ろむきすぎたかな)
- 少し時間が少なく忙しかった。
- 限られた時間なので…
- 本日は議論の時間が少なめで、少々残念でした。
- 次回、グループ討議の時間をもう少し長く取ってほしい。
- グループ討議が約 50 分なので、初回は 70 分程度は必要ではなかったのか。
- グループの人数も、もう少し少ない方がいいと思う。
- 府相公民館の事が多く話しに出ていた。決まった事の話はあまり必要を感じなかった。

## まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

- 事前の資料、1週間くらい前に届けていただけるとよく目を通してから当日に臨めると思います。
- 特に問題なし。次回より現実的な討議が進められる様に。
- 良かったです。
- 問題なし
- いいと思います。
- 良い
- 良いと思います。
- みなさんの意見が聞けて良かったです。
- 良いと思います。
- みんなの意見を出すように進めていました。
- そもそも論から入る（導入）は良かったと思います。
- ファシリテーターの方が意見をふってくださったり、まとめてくださったので、わかりやすかったです。よかったですと思います。
- 藤森さんががんばってください！

## ご質問等への回答

### 1 資料について

- 市全体だけでなく、地区ごとの正確なデータ（例：高齢者数や児童生徒数、施設ごとの支出や収入など）や情報を出してもらい、蒲郡南地区や地区内の各地域の現状や課題、歴史的背景やこれまでの経緯を踏まえて議論を進めたい。
- 地区利用型施設の再編については、地区のまちの状況（変化）、小中学校の空き教室や各公共施設の利用率等の現状を把握し、さらには地区内に影響を及ぼすであろう全市利用型施設の配置の方針を踏まえて検討をしていきたい。
- 次回のために蒲中学区に特化した資料を提供して頂きたい。でないと検討が進めないと思われます。（ふりかえりシートより）

#### 【検討の参考情報について】

今回、「データでみる蒲郡南地区の現状」（p.34～47）をご用意しました。前回お示しした資料等で特に重要と思われる情報を中心に整理したものです。

- ワークショップでは、各公共施設の機能や役割、規約や制約、管理体制、築年数や耐震補強の状況などを理解した上で、検討に入りたい。情報提供だけだとなかなか理解ができないので、説明をしてほしい。また、専門用語などは参加者にもわかりやすい表記や説明をお願いしたい。

#### 【各施設の情報について】

用途ごとに、設置目的、利用対象者及び管理体制をまとめました。（図表1）  
築年数や耐震補強の状況等は、p.42～46「各施設の概要」に掲載しています。（耐震補強の状況については、分かりやすくするために、前回お示しした内容を一部赤字で修正しています。）

## まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

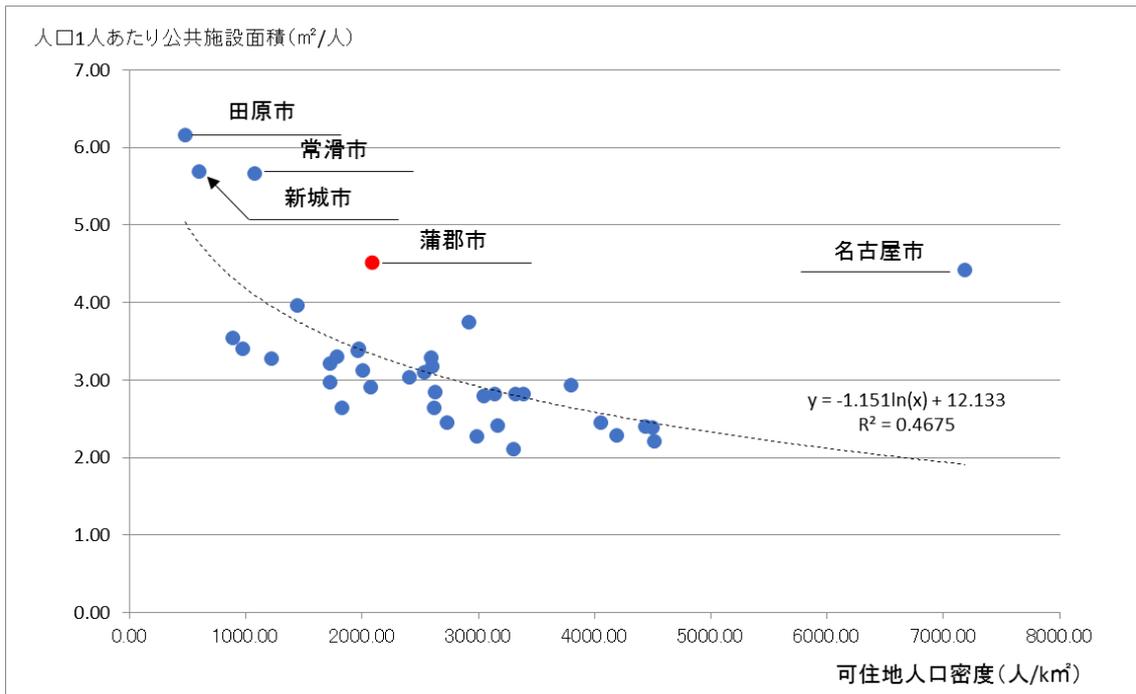
図表1 用途別にみた公共施設の特性

	設置目的（役割）	利用対象者	管理体制
小学校	学校教育法に基づき、心身の発達に応じて、初等教育を施すことを目的とする施設。	<ul style="list-style-type: none"> <li>通学する小学生のほか、休日や夜間に地元の各種スポーツ団体が運動場や体育館を利用して活動を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>蒲郡市教育委員会が管理運営を行っている。</li> </ul>
中学校	学校教育法に基づき、小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、中等普通教育を施すことを目的とする施設。	<ul style="list-style-type: none"> <li>通学する中学生のほか、休日や夜間に地元の各種スポーツ団体が運動場や体育館を利用して活動を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>蒲郡市教育委員会が管理運営を行っている。</li> </ul>
保育園	児童福祉法に基づき、乳児及び幼児の保育並びに育成福祉を図ることを目的とする施設。	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働時間など、保護者が一定の要件を満たしている場合に、生後6ヶ月から未就学児まで（～5歳）が入園の対象となる。</li> <li>一時預かり保育や園庭開放など入園児以外の児童が利用できる事業も行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内18保育園のうち、16園を市が、2園（内1園は認定こども園）を民間の社会福祉法人が管理運営している。</li> </ul>
児童館	児童福祉法の理念に基づき、18歳未満のすべての子どもを対象として、遊び及び生活の援助と地域における子育て支援を行い、子どもを心身ともに健やかに育成することを目的とする児童福祉施設である。遊びによる子どもの育成、子どもの居場所の提供、保護者の子育ての支援、地域の健全育成の環境づくり、放課後児童クラブの実施などの活動を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>0から18歳までの児童と乳幼児の保護者</li> <li>児童クラブ利用児童</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内7児童館を市が直営している。</li> <li>各児童館に館長1名、厚生員2名を配置し、子育て支援課が運営状況を管理している。</li> </ul>
公民館	社会教育法に基づき、一定区域内の住民（蒲郡市民）のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする施設。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民（居住地に関係なく蒲郡市民であればなどの公民館も利用可能）</li> <li>※営利性・政治性・宗教性のある内容は利用不可</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内11館のうち府相公民館を除く10館は、地元組織が指定管理者として管理運営を行っている。（府相公民館は、管理運営に必要な職員を市が雇用して配置している。）</li> <li>教育委員会が委員を委嘱する各公民館の「公民館運営審議会」が館長を任命し、その下に、主事1～2名、書記1～2名を配置している。</li> <li>館長は館を代表し、館務を掌理し、主事及び書記は館長の命を受け、公民館の事業の実施にあたる。</li> </ul>

- 駅前地区は人口が必ずしも減少するということでもないはずである。また、人口密度を踏まえると、現状の保有面積が多いとは言えないのではないか。

【人口1人あたり公共施設面積と人口密度の関係について】

図表2 人口1人あたり公共施設面積と可住地人口密度の関係



県内 38 市の人口1人あたりの公共施設面積と可住地人口密度の関係をグラフに表しました。(図表2)

蒲郡市の値は、近似曲線を大きく上回っていることから、人口密度を踏まえてみても、人口1人あたりの公共施設面積が過大なことが分かります。

## まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

- 避難所や防災倉庫の位置、また、防災備蓄品の整備状況などを把握した上で、検討していきたい。

### 【避難所・防災倉庫・防災備蓄品について】

避難所および避難所の主な防災備蓄品の整備状況は、図表3のとおりです。

また、土のう、シャベル、のこぎりなどの防災器具を格納する防災倉庫の設置場所は、図表4のとおりです。

図表3：避難所および防災備蓄品一覧表

蒲郡南地区 避難所一覧		南部小学校区					竹島小学校区	東部小学校区						
		南部小学校	蒲郡中学校	南部保育園	蒲郡高等学校	勤労福祉会館	竹島小学校	東部小学校	東部保育園	とかみ会館	上組合館	迫公民館	五井多目的ホール	平田町民ホール
収容人員	(人)	390	520	60	530	490	400	300	63	40	40	30	60	60
非常食備蓄数 (乾パン・米など)	(食)	820	1,132	60	1,090	930	832	636	60	110	110	110	160	160
応急給水用水源 (100トン分)			○			○	○	○						
飲料水500ml (24本/箱)	(箱)						34							
毛布	(枚)	390	520	60	530	490	400	300	60	40	40	30	60	60
非常用トイレ各種 (簡易トイレ、マンホールトイレ等)	(セット)	13	13	1	11	5	13	13	1					
天幕(トイレ用)	(張)	12	17		15		12	12						
パーテーション (H=1500)	(台)	4	6		4		4	2						
トイレトーパー (100個/箱)	(箱)	4	5				4	5						
トイレ凝固剤セット (100個/セット)	(セット)	5	5		5		5	5						

(平成30年3月31日現在)



2

本市の公共施設マネジメントの取り組みについて

- 市全体で公共施設を3割縮減する方針が妥当な考えなのかを理解するため、その算定の根拠を示してほしい。

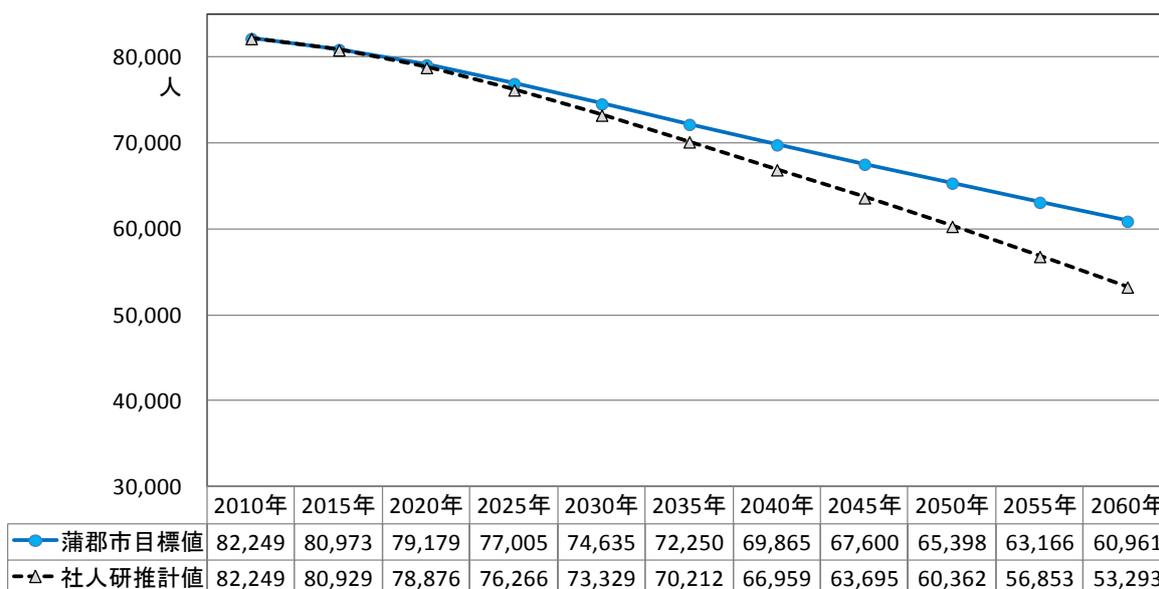
【マネジメント目標の設定について】

本市の人口1人あたりの公共施設の延床面積は、4.53 m<sup>2</sup>であり、全国平均(3.74 m<sup>2</sup>)と比較すると2割以上多く、県内の市(全38市)の中でも、上位(第4位)であることなどから、人口規模からみて公共施設の保有量が過大であることが、白書で明らかになりました。

一方で将来の本市の人口は、「蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」において、2060年(平成72年)までの50年間で約25.9%(1-60,961人/82,249人)減少することが想定されています。(図表6)

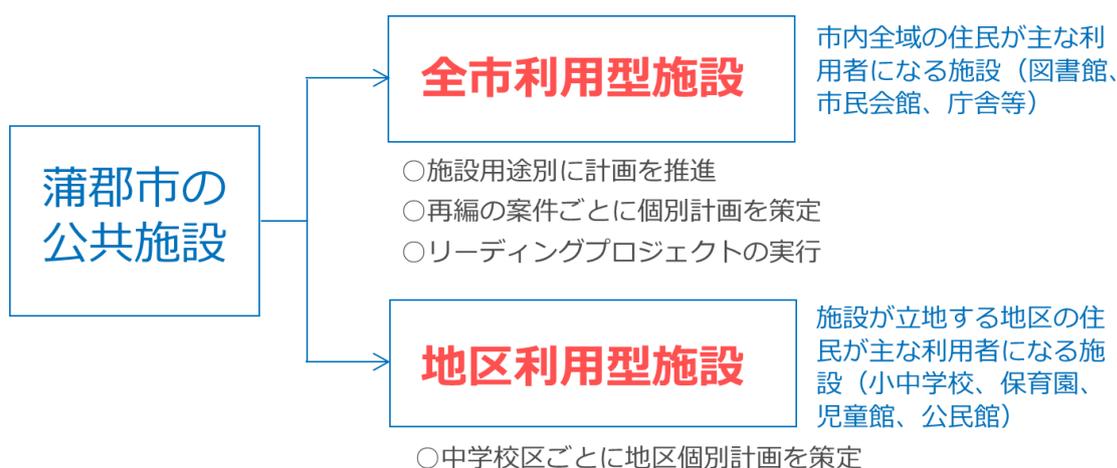
以上を踏まえ、人口が減少していく中で、将来にわたって維持可能な保有量に適正化していくために、人口の減少率よりも高い割合の床面積の縮減が必要なため、建物の更新(複合化等による機能の見直しを含む。)の際に概ね3割の床面積を縮減することを目標の1つとしています。

図表6 蒲郡市の総人口の将来見通し



- 全市利用型施設は、今回のワークショップで検討する施設の対象外になっているが、生きがいセンターや生命の海科学館などの全市利用型施設は、地区利用型施設としての機能を担っていたり、今後、担う可能性も出てくるだろう。全市利用型施設のなかでも地区利用型施設の機能や配置に影響を及ぼすであろう施設については、併せて検討対象とした方が良いのではないか。
- 全市利用型施設は、今回のワークショップで検討する施設の対象外になっているが、災害時の全市利用型施設の位置づけや活用について鑑みながら、地区利用型施設の機能や配置を検討する必要があるだろう。あわせて、全市利用型施設の市の考え方や方針も示してほしい。

図表7 施設の分類



【施設の特性に応じた計画策定の考え方について】

これまでに実施した市民会議等でいただいたご意見を踏まえ、蒲郡市公共施設マネジメント実施計画では、市内全域の住民が主な利用者となる「全市利用型施設」と、施設が立地する地区の住民が主な利用者となる「地区利用型施設」に分けて、適正配置に向けた検討を行うこととしています。

「全市利用型施設」については、「全市利用型施設」同士での複合化や集約化、利便性の高い位置への再配置等を行い、市全体としての魅力の向上を図るとともに、施設保有量の適正化や運営等の効率化を進めます。

## まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

一方で、「地区利用型施設」については、地区ごとに交流拠点を整備することで、地区の皆様が互いに支え合い、助け合うことができる環境の充実を図っていきます。

このため、「全市利用型施設」は、利用圏を市域全体で捉えて配置を検討し、「地区利用型施設」は、地区ごとに配置を検討していきます。

### 3 今回の検討や今後の進め方について

- 地区個別計画は、いつ実行されるのか。10年後か30年後かによって考え方や優先順位が異なってくる。

#### 【地区個別計画策定後の進め方について】

ワークショップ等でいただくご意見を参考に、市は地区個別計画を策定し、地区利用型施設の将来の配置や使い方を示しますが、その後に、敷地内の施設の配置や平面図などを運営実務者の意見を聞きながら検討していきます。

整備の実施時期は、その検討結果や他地区の地区個別計画の内容、さらには市の財政状況等を踏まえて総合的に判断していきます。

今後本格的に進む人口減少や少子高齢化などの社会の変化に対応できる持続可能な施設づくりを進めていくため、ワークショップでは、概ね30年後の理想の姿を検討し、ご意見をいただきたいと考えています。

- 施設や機能をただ一緒にすればよいということではなく、その施設を複合化や統合することで現在の利用者がどのような影響を受けるのか、メリット・デメリットを整理した上で検討していきたい。

#### 【複合化のメリット・デメリットについて】

複合化について、イメージをお持ちいただけるよう「コミュニティ施設の複合化・集約化事例集」を作成しましたので参考にしてください。

また、これからのワークショップの議論の中では、複数の再配置プランについて比較検討していきます。その中で、それぞれの施設が複合化した場合のメリット・デメリットを整理していきます。

## まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

- ワークショップ参加者の意見や検討結果を踏まえるだけでなく、実際に検討対象となっている公共施設（学校や保育園など）の運営を担う現場スタッフの意見も聞いた上で複合化や統廃合等、検討する必要がある。

### 【対象施設の関係者のご意見について】

地区個別計画の策定に向け、市として各施設の所管部署を含む全庁横断的な体制で検討に臨むことで、学校や保育園などの現場の意見を取り入れていきます。

- このようなワークショップのようなまちづくりについて話し合う場に、今後増えるであろう高齢者の参加が少ないのが気になる。もう少し参加があった方が良い。
- ワークショップ参加者だけでなく、ワークショップに参加していない高齢者の意見も聞いてほしい。その際には、老人クラブなど既存の活動や、各地区の集会所に出向いたりするなどして、高齢者の意見を聞く工夫が必要である。

### 【コミュニケーション方法について】

今回のワークショップは全5回の開催を通じて議論を段階的に積み上げていくため、誠に恐縮ですが今回以降新規に参加者を募集することはありません。

幅広い世代、様々な立場の方々のご意見をいただけるよう、ワークショップ以外にも、かわら版やオープンハウス（パネル展示型説明会）で、検討状況等をお知らせするとともに意見募集を行います。

## まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

- ワークショップの中で疑問が出てきたときには、市役所の担当者に質問をしても良いのか。

### 【ワークショップ内での質問対応について】

グループ討議中などに質問や疑問点がありましたら、ファシリテーターにお尋ねください。議論を進める上で確認が必要なことについては、ファシリテーターから市職員に質問させていただきます。

- 次回、グループ討議の時間をもう少し長く取ってほしい。(ふりかえりシートより)

### 【グループ討議の時間について】

第1回ワークショップでは、本市の公共施設マネジメントのこれまでの取り組みなどについて詳しく説明させていただきました。

今回は、グループ討議の時間を前回より長い90分間を予定させていただきます。活発なご議論をお願いいたします。

- 事前の資料、1週間くらい前に届けていただくとよく目を通してから当日に臨めると思います。(ふりかえりシートより)

### 【資料の事前送付について】

各回ワークショップの間の期間では、みなさまのご意見を整理し、市の内部で共有した上で、次回お示しする資料の内容について全庁横断的な体制で検討を進めていきます。このような調整期間が必要なため、誠に恐縮ですが、今後の日程を踏まえると、開催1週間前までの資料送付が難しい状況です。ただし、可能な限り早く送付することに努め、遅くとも3日前までにお届けしたいと考えています。

- 府相公民館が竹島小学校敷地へ移設され、竹島小学校との複合施設として建設されることが決定していたことを初めて聞いた。これまであった市民センター機能がなくなる理由も含めて、決まった経緯やその理由をきちんと地元住民に説明してほしい。また、周知徹底をしてほしい。

【南部市民センターについて】（市民センターを所管する行政課による回答）

平成 24 年度に、蒲郡市行政改革委員会による提言を受け 4 つの市民センターを廃止する方向で検討を重ねてきました。

平成 24 年度末に西部市民センター・東部市民センターを、形原出張所・東出張所の廃止に伴い廃止し、蒲郡公民館を併設する中部市民センターも、平成 25 年の中部市民センター取り壊し及び蒲郡公民館建設に合わせて廃止しました。

府相公民館を併設した南部市民センターの廃止につきましては、平成 28 年 11 月 4 日に市内部の協議により、府相公民館の竹島小学校敷地への移設にあわせて廃止することを決定しました。その決定に基づき地元関係者からなる建設準備委員会等へ説明するとともに、公共施設マネジメント実施計画に明記し、平成 29 年 3 月に公表しております。

南部市民センターの利用者については、中部市民センター及び東部市民センター廃止に伴い一時的に伸びたものの、公民館事業への利用者の振り替え等により、南部市民センター自体の利用者は少なくなっており、今後、廃止することについて、利用者の方への説明を行っていきます。

- 府相公民館については、既に建設検討委員会と市の協議が重ねられ、竹島小学校敷地への移設と竹島小学校との複合施設として建設される方針があるため、今回は前提条件として検討を進めることになっているが、本来ならば地区利用型施設として整合を図りながら一体的に検討すべきものであると思う。

【前提条件について】

(公民館を所管する教育委員会生涯学習課による回答)

現在の府相公民館は、老朽化が著しいことや、土砂災害特別警戒区域に立地していることから、市が公共施設マネジメント事業に着手する前から、建替えの検討が進められてきました。

そのため、地区個別計画の策定とは別に、府相区の総代や公民館長からなる府相公民館建設検討委員会との協議を重ねてきました。その結果として、平成29年度には、同じ年に策定した公共施設マネジメント実施計画の考え方も踏まえて、府相公民館を竹島小学校の敷地内へ移設・建替えし、学校と公民館の機能を連携させたコミュニティの場にする方針を決定しました。

- そもそも「公民館」とはどんな役割の施設なのか。
- 公民館は当該地区の人しか使えないのか。

【公民館の役割等について】

(公民館を所管する教育委員会生涯学習課による回答)

公民館の目的は、社会教育法において、「公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化をはかり、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。」と定められています。

地域住民の「つどう」、「まなぶ」、「むすぶ」を促進し、人づくり、地域づくりを推進していくことが、公民館の大切な役割です。

地域住民の生涯学習の拠点施設として、各種の講座や事業を実施し、「つどう」の場を提供しています。また、さまざまな趣味を持った人たちが、自主グループを作り、仲間と一緒に学ぶことができる「まなび」場として活用されています。その他にも、集会の場として住民の憩いや会議の場に利用され、地域活動（体育祭、交流活動、敬老会等）の調整の場として各種団体の連絡調整をするなど、地域を「むすぶ」拠点としても活用されています。

蒲郡市民の方なら立地している地区以外の人でも子どもから大人までどなたでも利用できます。ただし、利用には一定の制限があり、例えば営利、宗教的な目的のための使用や政治的な利用も法律で認められている例を除いて、特定の政党や個人の支援につながるような使用はできません。

## データで見る蒲郡南地区の現状

### 1 地区の特色

- ・ 蒲郡南地区は市中南部に位置し、蒲郡駅を中心とした市の玄関口となる地区です。蒲郡駅周辺の中心市街地が商業地区となっているほか、海岸沿いには竹島や水族館、科学館といった観光地・観光施設が集まっていて市の観光の中心にもなっています。地区北部には住宅地や農地、森林が広がっています。
- ・ 蒲郡市都市計画マスタープランにおいては、蒲郡駅周辺を中心都市核として位置付け、中核的な都市機能の集積を図っています。
- ・ 人口は17,038人と7地区の中で最も多く、市全体の約21%を占めています。

### 2 地区間公共施設保有量比較

- ・ 蒲郡南地区の地区利用型施設の人口1人あたり延べ床面積は、2.09㎡/人で、市全体（2.00㎡/人）と比較して、4.5%多い状況です。

地区	人口(H27)	施設区分	公共施設 保有面積 (㎡)	人口1人 あたり面積 (㎡/人)
大塚	6,553	全市利用	16,848	2.57
		地区利用	14,820	2.26
		総計	31,668	4.83
三谷	12,934	全市利用	7,201	0.56
		地区利用	25,431	1.97
		総計	32,632	2.52
蒲郡北	12,379	全市利用	50,765	4.10
		地区利用	27,144	2.19
		総計	77,909	6.29
蒲郡南	17,038	全市利用	59,613	3.50
		地区利用	35,617	2.09
		総計	95,230	5.59
塩津	11,179	全市利用	53,670	4.80
		地区利用	17,589	1.57
		総計	71,259	6.37
形原	15,331	全市利用	9,560	0.62
		地区利用	25,632	1.67
		総計	35,192	2.30
西浦	5,686	全市利用	12,943	2.28
		地区利用	15,593	2.74
		総計	28,535	5.02
市全体	81,100	全市利用	210,600	2.60
		地区利用	161,826	2.00
		総計	372,426	4.59

※ 人口は、国勢調査データに基づき算出

※ 分析対象は、公共施設白書における対象施設

※ 地区利用型施設には、小規模施設（公園便所等）を含む

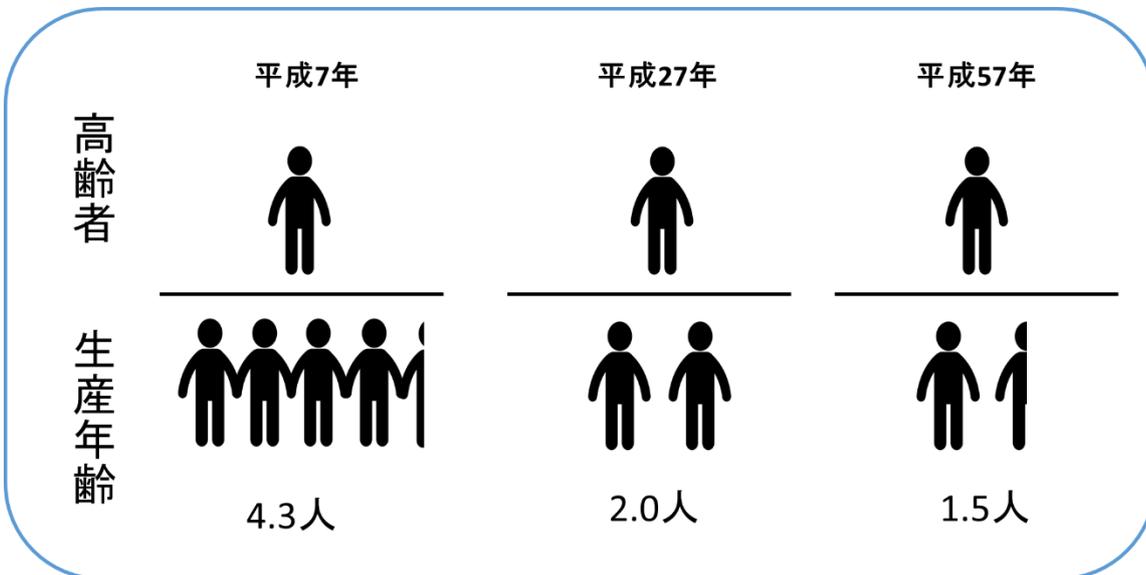
3 人口

- ・ 国勢調査のデータによると、平成 27 年までの 20 年間で、蒲郡南地区の人口は 513 人（約 2.9%）減少し、高齢者人口は 2,011 人（約 70.8%）増加しました。今後も人口減少、高齢化が見込まれます。

蒲郡南地区の人口推移

人口区分		平成7年	平成17年	平成27年	平成37年	平成47年	平成57年
高齢者人口 (65歳以上)	目標値				4,768人	4,742人	4,735人
	実績値	2,839人	3,954人	4,850人			
生産年齢人口 (15~64歳)	目標値				9,114人	8,145人	7,151人
	実績値	12,089人	10,662人	9,922人			
年少人口 (14歳以下)	目標値				1,859人	1,790人	1,808人
	実績値	2,623人	2,315人	2,196人			
総計	目標値				15,741人	14,677人	13,694人
	実績値	17,551人	16,931人	17,038人			

- ※ 目標値は、「蒲郡市まち・ひと・しごと人口ビジョン」における目標人口の推計条件を蒲郡南地区に適用して算出
- ※ 実績値は、国勢調査データに基づき算出



- ・ 高齢者（65 歳以上）1 人に対する生産年齢人口（15 歳～64 歳）の人数は、平成 7 年当時は 4.3 人だったものが平成 27 年には、2.0 人にまで減少しています。また、平成 57 年には 1.5 人にまで減少する見込みです。

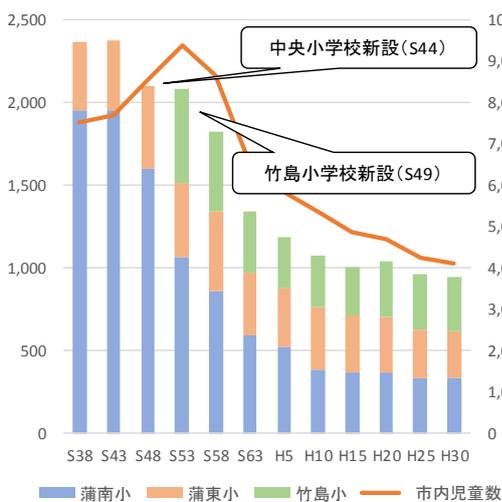
4 各公共施設の利用状況（資料集から抜粋）

(1) 小学校・中学校の児童・生徒数の推移（資料集p.14）

(人)

	S38	S43	S48	S53	S58	S63	H5	H10	H15	H20	H25	H30	S53を基準とした H30の割合
1 蒲南小	1,950	1,954	1,600	1,064	856	591	522	382	367	365	333	332	31.2%
2 蒲東小	413	421	499	445	485	375	352	385	345	339	294	284	63.8%
3 蒲北小	366	379	455	523	429	293	273	272	298	301	298	323	61.8%
4 蒲西小	206	185	156	136	184	140	124	123	92	105	74	67	49.3%
5 三谷小	1,393	1,449	810	749	633	469	394	357	372	330	262	215	28.7%
6 塩津小	551	581	809	1,066	1,038	808	715	685	654	579	518	527	49.4%
7 大塚小	396	402	418	527	590	488	394	408	356	385	308	297	56.4%
8 形原小	1,461	1,075	952	955	863	676	647	569	488	500	391	353	37.0%
9 西浦小	770	810	852	852	829	628	523	495	399	309	214	245	28.8%
10 形北小		447	596	947	846	628	587	499	486	534	570	520	54.9%
11 中央小			671	721	661	527	483	412	306	286	334	304	42.2%
12 三谷東小			738	802	755	507	489	467	389	320	320	303	37.8%
13 竹島小				575	485	376	314	306	294	331	337	329	57.2%
14 蒲中	1,991	1,419	1,443	1,061	981	891	651	592	530	487	520	517	48.7%
15 三谷中	986	700	718	726	713	705	460	460	410	383	318	294	40.5%
16 塩津中	342	269	332	442	495	535	376	351	331	308	317	257	58.1%
17 大塚中	253	192	199	218	270	268	238	184	187	194	184	147	67.4%
18 形原中	958	726	812	816	836	825	621	653	517	478	517	474	58.1%
19 西浦中	545	358	405	452	399	414	303	245	227	196	148	101	22.3%
20 中部中				665	699	616	465	450	380	355	338	334	50.2%
計(小学校)	7,506	7,703	8,556	9,362	8,654	6,506	5,817	5,360	4,846	4,684	4,253	4,099	43.8%
計(中学校)	5,075	3,664	3,909	4,380	4,393	4,254	3,114	2,935	2,582	2,401	2,342	2,124	48.5%
合計	12,581	11,367	12,465	13,742	13,047	10,760	8,931	8,295	7,428	7,085	6,595	6,223	45.3%

蒲郡南地区児童数推移(小学生)



蒲郡南地区生徒数推移(中学生)



- 市内全体の児童生徒数が最も多かった昭和53年と平成30年を比較すると、蒲郡南地区全体での児童生徒数は46.5%にまで減少しています。  
(3,145人→1,462人)
- 特に蒲郡南部小学校は減少が大きく、昭和53年の31.2%になっています。

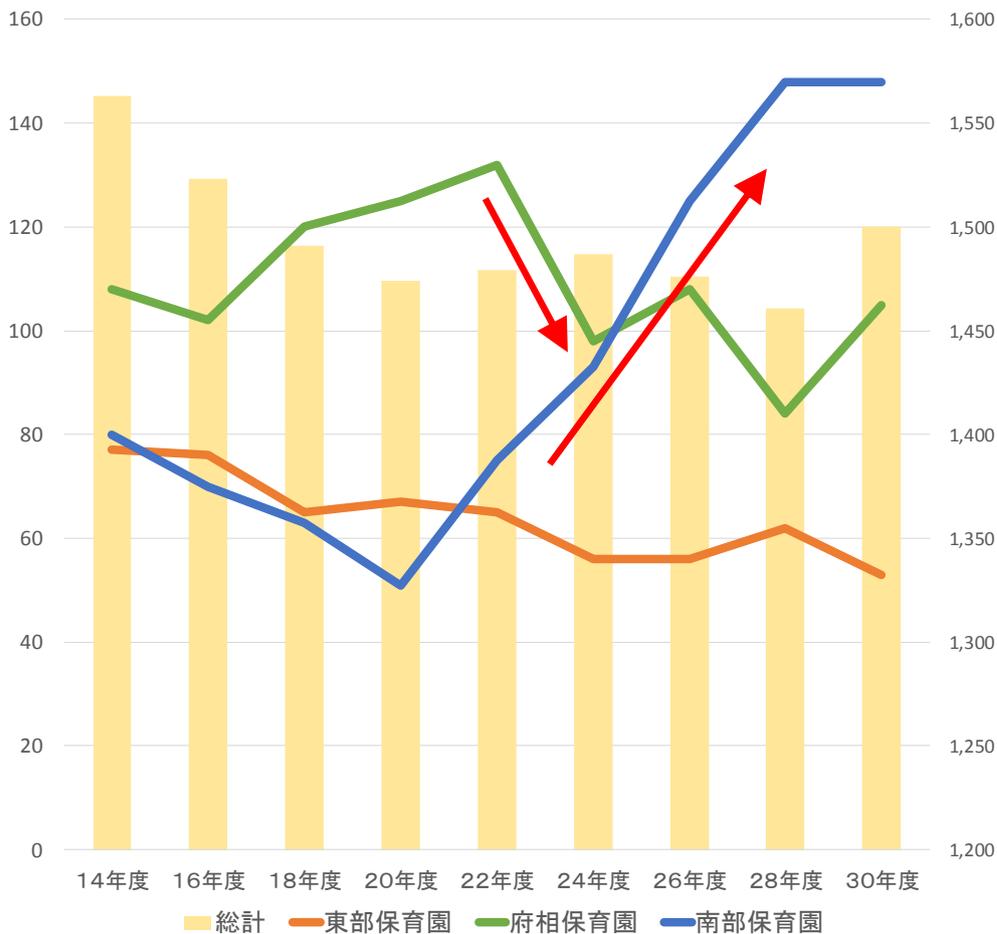
(2) 保育園の園児数の推移 (資料集 p.22)

単位:人

保育園名	H30定員	14年度	16年度	18年度	20年度	22年度	24年度	26年度	28年度	30年度
東部保育園	70	77	76	65	67	65	56	56	62	53
北部保育園	140	85	53	71	113	137	117	110	108	108
西部保育園	70	39	48	45	31	30	47	31	35	37
塩津保育園	60	54	64	58	58	52	38	34	24	21
大塚保育園	80	75	79	76	69	58	55	65	58	55
府相保育園	130	108	102	120	125	132	98	108	84	105
三谷東保育園	140	129	123	124	121	124	140	126	106	108
大塚西保育園	60	57	66	57	39	35	30	31	32	21
三谷西保育園	90	96	95	99	91	99	75	58	57	66
形原保育園	100	67	63	70	52	30	56	73	70	82
中部保育園	160	116	122	130	130	137	147	118	129	146
南部保育園	150	80	70	63	51	75	93	125	148	148
形原南保育園	100	86	91	89	104	110	93	75	77	75
西浦保育園	120	120	100	89	72	86	83	88	89	86
鹿島こども園	140	119	120	113	131	112	121	129	130	150
みどり保育園	140	107	101	95	88	92	101	124	132	138
形原北保育園	90	85	88	78	92	76	91	72	78	77
塩津北保育園	60	63	62	49	40	29	46	53	42	24
総計	1,900	1,563	1,523	1,491	1,474	1,479	1,487	1,476	1,461	1,500

(各年度4月1日現在)

園児数推移



- 南部保育園は公立の保育園の中で利用者が最も多く、施設の建替えが行われた平成24年度あたりから利用者数が増加しています。
- 府相保育園は平成22年度以降利用者数の減少がみられます。

(3) がまごおり児童館の利用状況（資料集p.24）

開館日：毎週水曜日から月曜日  
 （火曜日・祝日は休館）

対象：0～18歳の子ども

※ 小学1年生からは子どものみでの利用が可能

平成29年度年間利用者数

	開館日数	乳幼児		小学生		中高生		その他		団利用客	児童クラブ	合計	
		利用数	平均	利用数	平均	利用数	平均	利用数	平均			利用数	平均
がまごおり	294	10,784	36.7	2,951	10.0	238	0.8	8,753	29.8	73	9,035	31,834	108.3
かたはら	294	7,754	26.4	2,525	8.6	114	0.4	6,930	23.6	167	5,293	22,783	77.5
みや	294	8,972	30.5	3,589	12.2	370	1.3	7,447	25.3	64	3,048	23,490	79.9
おおつか	294	3,690	12.6	2,928	10.0	237	0.8	3,118	10.6	308	7,188	17,469	59.4
にしうら	294	7,216	24.5	4,239	14.4	544	1.9	5,992	20.4	98	4,386	22,475	76.4
しおつ	294	5,974	20.3	3,336	11.3	528	1.8	5,255	17.9	232	8,087	23,412	79.6
ちゅうぶ	294	11,238	38.2	7,312	24.9	1,205	4.1	9,745	33.1	132	2,442	32,074	109.1

乳幼児向けイベント

- リズムと絵本（毎週水曜日）  
リズム遊びや絵本の読み聞かせ
- 親子遊び（毎週木曜日）
- 赤ちゃんサロン（会員制）  
赤ちゃんとお母さんの交流の場。子育ての情報交換や交流など。
- パパと遊ぼう

小学生向けイベント

- とびだせおはなし
- 工作あそび
- 避難訓練

など



・平成29年度のがまごおり児童館の1日当たり利用者数は108人であり、市内7館中2番目に利用者が多いことが分かります。

読み聞かせや防犯教室の様子

(4) 公民館の利用状況 (資料集p.26)

【1】 公民館別 貸部屋利用率状況

施設名称	利用者数(人)	貸部屋利用率(%)	貸部屋 一覧	
蒲郡公民館	17,158	25.2%	【6部屋】和室1、和室2、研修室、調理室、多目的ホール1・2、多目的ホール3、(館外等)	蒲郡南地区
小江公民館	14,983	24.0%	【6部屋】ホール(1F・3F)、小会議室、講座室、和室、料理室、(館外等)	
府相公民館	21,520	25.4%	【7部屋】集会室(第1・2・3)、大集会室、和室(1階・3階)、調理実習室、(館外等)	
東部公民館	28,763	18.1%	【6部屋】小会議室、南研修室、和室、研修室、大会議室、料理室、(館外等)	蒲郡北地区
北部公民館	27,035	16.0%	【5部屋】会議室、ホール、調理室、和室(1・2)、(館外等)	
西部公民館	10,385	20.1%	【6部屋】和室(南・中・北)、ホール、図書室、調理室、(館外等)	三谷地区
三谷公民館	33,730	18.7%	【9部屋】集会室(第1～6)、大集会室、和室、調理室、(館外等)	
塩津公民館	17,636	17.8%	【6部屋】講義室、図書室、調理室、会議室、北和室、南和室、(館外等)	塩津地区
大塚公民館	28,401	22.1%	【6部屋】集会室、会議室、小会議室、控室、和室、料理室、(館外等)	大塚地区
形原公民館	23,549	26.7%	【7部屋】会議室(1～3)、大ホール、中ホール、和室(東・西)、(館外等)	形原地区
西浦公民館	31,440	18.4%	【8部屋】本館研修室(1・2)、本館講堂、本館会議室(1・2)、調理室、南館談話室、南館会議室、(館外等)	西浦地区
全館平均	23,145	21.1%		

※貸部屋利用率の算出方法: 貸部屋別、時間区分別(午前/午後/夜間)の合計貸部屋利用回数  
 ÷ 貸部屋予約可能枠数合計【貸部屋数 × 時間区分(午前/午後/夜間) × 開館日】

【2】 公民館 部屋別 利用率状況

① 蒲郡公民館

施設名称	利用者数(人)	貸部屋別利用率(%)	時間区分別 利用回数			
			午前	午後	夜間	計
和室1	731	9.1%	18	62	0	80
和室2	909	15.2%	28	103	2	133
研修室	3,787	57.2%	180	206	115	501
調理室	409	4.0%	20	13	2	35
多目的ホール1・2	7,588	55.6%	165	174	148	487
多目的ホール3	770	10.0%	42	38	8	88
その他【全館・館外等】※	2,964					
合計	17,158	25.2%	453	596	275	1,324

② 小江公民館

施設名称	利用者数(人)	貸部屋別利用率(%)	時間区分別 利用回数			
			午前	午後	夜間	計
ホール(1F)	5,578	47.8%	80	283	56	419
ホール(3F)	1,198	14.4%	2	49	75	126
小会議室(2F)	1,943	26.5%	87	122	23	232
講座室(2F)	942	21.7%	32	156	2	190
和室(2F)	1,868	30.7%	25	150	94	269
料理室	216	2.9%	21	4	0	25
その他【全館・館外等】※	3,238					
合計	14,983	24.0%	247	764	250	1,261

③ 府相公民館

施設名称	利用者数(人)	貸部屋別利用率(%)	時間区分別 利用回数			
			午前	午後	夜間	計
第1集会室	4,964	35.4%	67	118	130	315
第2集会室	282	5.2%	23	23	0	46
第3集会室	1,888	30.0%	84	106	77	267
大集会室	6,142	56.9%	172	129	206	507
和室(1F)	2,949	43.0%	108	237	38	383
和室(3F)	442	6.4%	51	2	4	57
調理実習室	153	1.2%	10	1	0	11
その他【全館・館外等】※	4,700					
合計	21,520	25.4%	515	616	455	1,586

④ 東部公民館

施設名称	利用者数(人)	貸部屋別利用率(%)	時間区分別 利用回数			
			午前	午後	夜間	計
小会議室	2,241	24.7%	35	19	170	224
南研修室	2,070	12.3%	15	25	71	111
和室(A・B)	2,177	18.0%	57	42	64	163
研修室	5,218	35.8%	60	179	85	324
大会議室	1,788	16.2%	8	82	57	147
料理室	128	1.4%	12	1	0	13
その他【全館・館外等】※	15,141					
合計	28,763	18.1%	187	348	447	982

※館外・・・クラブ活動の屋外活動の受付業務やその他(図書館分室・ホールなど)の利用。貸部屋利用率には含まない。  
 ※全館・・・イベント開催日など全館を利用すること。貸部屋利用率には反映済み。

- ・ 蒲郡南地区内の3館で全館平均と比べ公民館利用者数が少ないことが分かります。
- ・ 4館とも調理室の貸部屋利用率は低いことが分かります。

【3】公民館 世代別 利用状況

① 蒲郡公民館

	講座数	延利用者数	世代占有率(利用者)	実施回数	世代占有率(回数)
定期クラブ活動(館外除く)	29種類	9,537	100.0%	963	100.0%
大人対象のクラブ活動	29種類	9,537	100.0%	963	100.0%
子ども対象のクラブ活動	なし	0	0.0%	0	0.0%
その他一般活動(館外除く)		7,600		361	
館内利用小計		17,137		1,324	
館外活動など(スポーツ施設利用など)		21		46	
合計		17,158		1,370	

※定期教室・クラブ … 囲碁、蒲郡民謡、栄宝民謡クラブ、草の実俳句会、民謡(夜)、茶道、蒲郡女声コーラス、老人カラオケクラブ  
 洋裁・手芸、写真教室、写真集団「雲」、歴史知名研究会、ちぎり絵菘和会、社交ダンスクラブ、卓球、実用書道  
 源氏物語を読む会、パソコン習得、老人カラオケ(男子)、カラオケ同好会、ちりめん細工、手編み教室、菊の会  
 コリナアンサンブル、文協短歌、夏目短歌会、元気モリモリ蒲郡、日本古代史研究会、すこやかダンス

※一般利用 … 公民館まつり、各種会議、子ども会利用など

② 小江公民館

	講座数	延利用者数	世代占有率(利用者)	実施回数	世代占有率(回数)
定期クラブ活動(館外除く)	26種類	7,293	100.0%	640	100.0%
大人対象のクラブ活動	26種類	7,293	100.0%	640	100.0%
子ども対象のクラブ活動	なし	0	0.0%	0	0.0%
その他一般活動(館外除く)		5,444		621	
館内利用小計		12,737		1,261	
館外活動など(スポーツ施設利用など)		2,246		50	
合計		14,983		1,311	

※定期教室・クラブ … 編み物、グラウンドゴルフ、ストレッチ体操、ダーツ、ちりめん細工、ピラティス、レクダンス、囲碁、歌謡、活花、太極拳、詩吟  
 書道、絵画、煎茶、卓球、俳句、民謡、木彫、洋裁、謡曲・仕舞、料理、裁縫、ほほえみ会、元気もリモリ蒲郡、フレッシュ会

※一般利用 … 盆踊り、文化祭、子ども会利用、各種会議など

③ 府相公民館

	講座数	延利用者数	世代占有率(利用者)	実施回数	世代占有率(回数)
定期クラブ活動(館外除く)	49種類	14,585	100.0%	1,545	100.0%
大人対象のクラブ活動	47種類	12,990	89.1%	1,461	94.6%
子ども(親子)対象のクラブ活動	2種類	1,595	10.9%	84	5.4%
その他一般活動(館外除く)		1,591		53	
館内利用小計		16,176		1,598	
館外活動など(スポーツ施設利用など)		5,344		74	
合計		21,520		1,672	

※定期教室・クラブ … リトミック、自彊術、民謡クラブ、実用書道、パソコン教室、手編みサークル、Garudaヨガ、笑下甚塾、グラウンドゴルフ同好会  
 山本絵画教室、歌謡吟詠、デコパージュ、さざなみ句会、詩吟わらべ、3B体操、子育てままの3B体操、和裁、ちりめん細工  
 各種エクササイズ、三線サークル、料理、俳句会、ベビーマッサージ、ファーストサイン、オカリナ、大正琴、歌唱クラブ、水墨画  
 生花、君多香会、ワハハの会、遊楽倶楽部、水彩画、空手、長唄、朝ヨガ、福の会、蒲郡ぞう親子歌う会みかん

※一般利用 … 体育祭、公民館まつり、敬老会、子ども会、各種会議など

④ 東部公民館

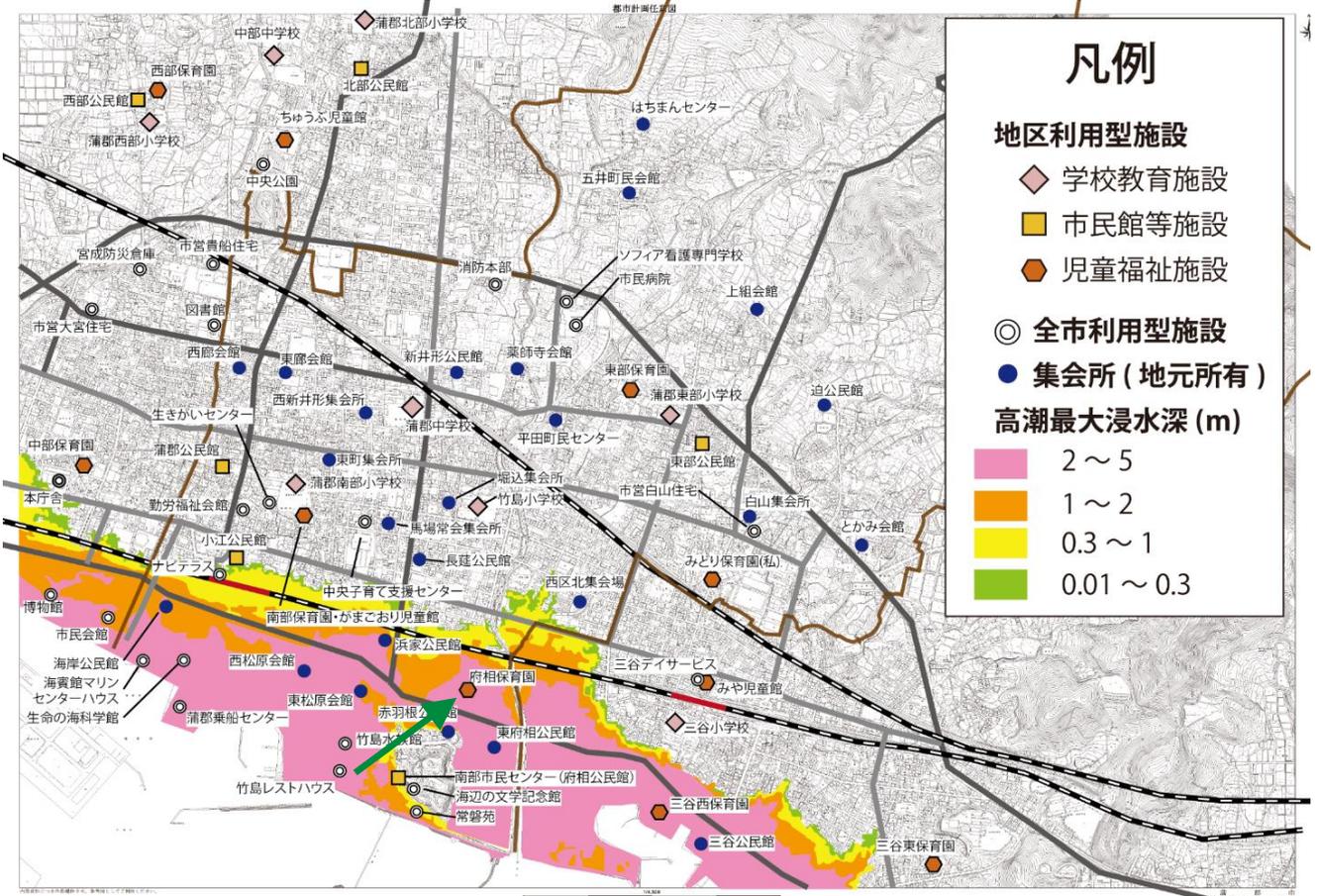
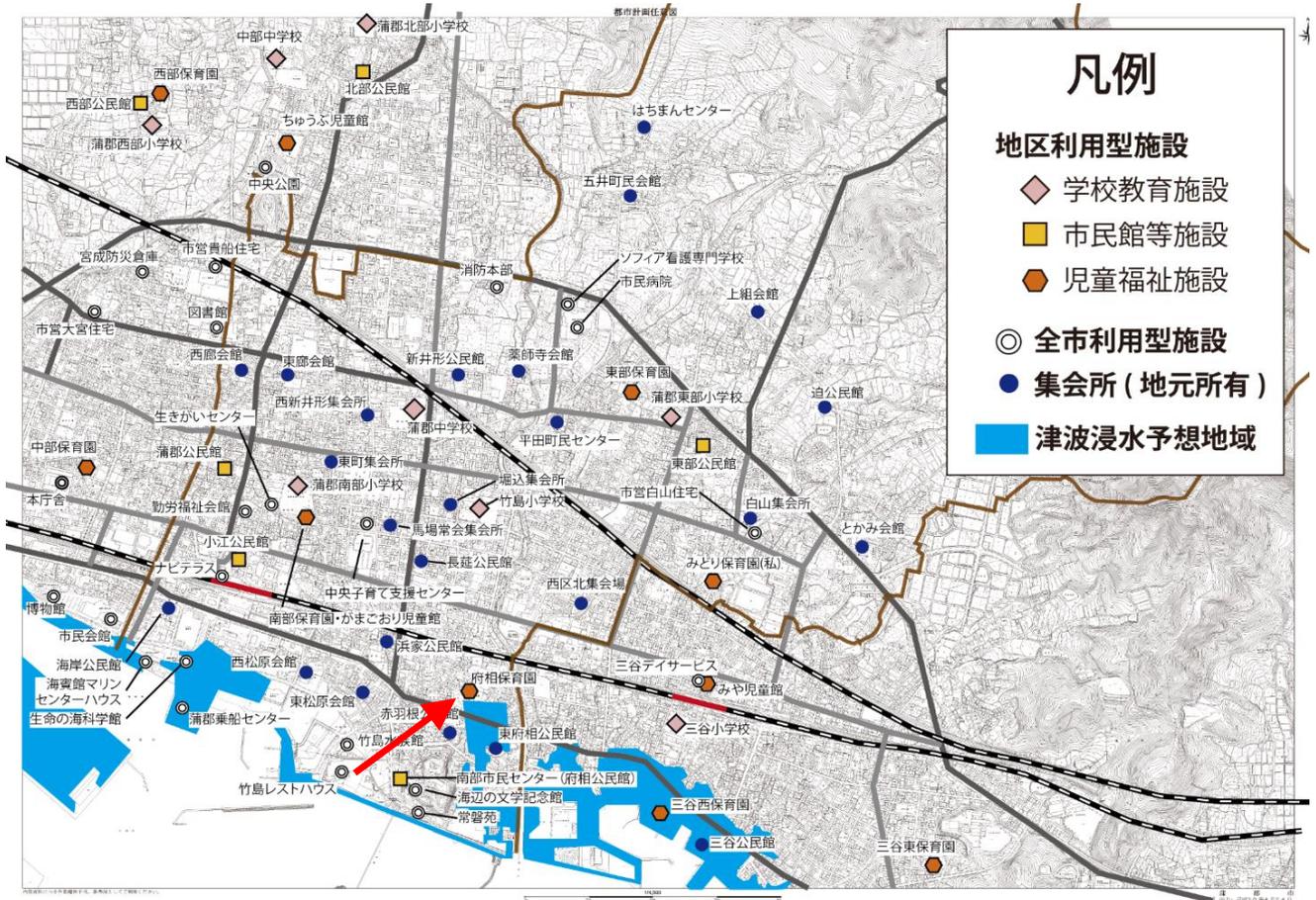
	講座数	延利用者数	世代占有率(利用者)	実施回数	世代占有率(回数)
定期クラブ活動(館外除く)	31講座	10,093	100.0%	1,020	100.0%
大人対象のクラブ活動	28講座	8,908	88.3%	853	83.6%
子ども対象のクラブ活動	3講座	1,185	11.7%	167	16.4%
その他一般活動(館外除く)		5,758		63	
館内利用小計		15,851		1,083	
館外活動など(スポーツ施設利用など)		12,912		128	
合計		28,763		1,211	

※定期教室・クラブ … 太極拳、大正琴、東部陶遊会、グラウンドゴルフ、相撲甚句、ラジオ体操、東部民謡、詩吟愛好会、歌謡詩吟、とうぶえてがみ  
 卓球、書道、遠鹿見俳句会、水墨画、ダーツ、カラオケ、音楽サークルさわらび、中村生け花教室、東部公民会句会  
 茶道練習会、ストレッチ、子育てどんぐりどんどん、にこにこ会、ダンスドリーマー、読み聞かせの会ひだまり、子ども卓球  
 親和会民謡クラブ、ジュニアパソコンクラブ、なかよし会、フラダンス、レインボー(自彊術)

※一般利用 … 公民館まつり、スポーツ大会、子ども会利用、各種会議など

・各館とも大人対象のクラブ活動での利用が多くを占めています。子どもの利用は少ない状況です。

(5) 津波・高潮の浸水想定地域 (資料集 p.2~3)



5 各施設の概要（前回資料と同様の内容ですが赤字部分を修正しました。）

施設名称	概況（特徴・課題等）
<p>蒲郡南部 小学校</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最も古い校舎は昭和 24 年に建設されている。</li> <li>・ 児童数 332 人（H30.5.1 現在）</li> <li>・ 普通学級数 12（全学年 2 クラス）、特別支援学級数 2。</li> <li>・ 校内に放課後児童クラブが設置されており、3～4 年生（25 人）が利用している。1～2 年生（53 人）についてはがまごおり児童館で実施。（H30.4.1 現在）</li> <li>・ 指定避難所・指定緊急避難場所に指定されている。</li> <li>・ <b>耐震性能有り（耐震補強済み）</b></li> </ul>
<p>蒲郡東部 小学校</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最も古い校舎は昭和 41 年に建設されている。</li> <li>・ 児童数 284 人（H30.5.1 現在）</li> <li>・ 普通学級数 12（全学年 2 クラス）、特別支援学級数 2</li> <li>・ 校内に放課後児童クラブが設置されており、1～4 年生（49 人）が利用している。（H30.4.1 現在）</li> <li>・ 指定避難所・指定緊急避難場所に指定されている。</li> <li>・ <b>耐震性能有り（耐震補強済み）</b></li> </ul>

施設名称	概況（特徴・課題等）
竹島小学校	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最も古い校舎は昭和 49 年に建設されている。</li> <li>・ 生徒数 329 人（H30.5.1 現在）</li> <li>・ 普通学級数 12（全学年 2 クラス）、特別支援学級数 3。</li> <li>・ 校内に放課後児童クラブが設置されており、1～3 年生（66 人）が利用している。（H30.4.1 現在）</li> <li>・ 三谷地区の一部の地域（西区の一部）に暮らす児童も通学している。</li> <li>・ 指定避難所・指定緊急避難場所に指定されている。</li> <li>・ <b>耐震性能有り（耐震補強済み）</b></li> </ul>
蒲郡中学校	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最も古い校舎は昭和 36 年に建設されている。</li> <li>・ 生徒数 517 人（H30.5.1 現在）</li> <li>・ 普通学級数 15（全学年 5 クラス）、特別支援学級数 3。</li> <li>・ 指定避難所・指定緊急避難場所に指定されている。</li> <li>・ <b>耐震性能有り（耐震補強済み）</b></li> </ul>

施設名称	概況（特徴・課題等）
東部保育園	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昭和 44 年に建設されている。</li> <li>・ 園児数 53 人（定員 70 人）（H30.4.1 現在）</li> <li>・ 平成 30 年度に低年齢児保育（2 歳児）を開始、延長保育は午後 6 時まで実施。</li> <li>・ 指定避難所に指定されている。</li> <li>・ <b>耐震性能有り（耐震補強済み）</b></li> </ul>
府相保育園	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昭和 46 年に建設されている。</li> <li>・ 園児数 105 人（定員 130 人）（H30.4.1 現在）</li> <li>・ 低年齢児保育は生後 6 ヶ月～、延長保育は午後 7 時まで実施。</li> <li>・ 愛知県が発表している津波浸水想定域内にある。</li> <li>・ <b>耐震性能有り（耐震補強済み）</b></li> </ul>
南部保育園	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 24 年に建設されている。</li> <li>・ 園児数 148 人（定員 150 人）（H30.4.1 現在）</li> <li>・ 低年齢児保育は生後 6 ヶ月～、延長保育は午後 7 時まで実施。</li> <li>・ がまごおり児童館との複合施設。</li> <li>・ 指定避難所に指定されている。</li> <li>・ <b>耐震性能有り（新耐震基準による建築物）</b></li> </ul>

施設名称	概況（特徴・課題等）
<p>がまごおり児童館</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 24 年に建設されている。</li> <li>・ 0～18 歳の子どもを対象とした施設。</li> <li>・ 蒲郡南部小学校の児童クラブが設置されており、1～2 年生（53 人）が利用している。（H30.4.1 現在）</li> <li>・ 南部保育園との複合施設。</li> <li>・ 指定緊急避難場所に指定されている。</li> <li>・ <b>耐震性能有り（新耐震基準による建築物）</b></li> </ul>
<p>蒲郡公民館</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 26 年に建設されている。</li> <li>・ 指定緊急避難場所に指定されている。</li> <li>・ <b>耐震性能有り（新耐震基準による建築物）</b></li> </ul>
<p>小江公民館</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昭和 50 年に建設されており、老朽化が進んでいる。</li> <li>・ 指定緊急避難場所に指定されている。</li> <li>・ <b>耐震性能有り</b></li> </ul>

施設名称	概況（特徴・課題等）
<p>府相公民館 （南部市民センター）</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昭和39年に建設されており、老朽化が進んでいる。</li> <li>・ 愛知県が発表している土砂災害特別警戒区域に入っている。</li> <li>・ 府相公民館は、南部市民センターの建物内に位置している。</li> <li>・ 府相公民館は、竹島小学校敷地内に移転し、小学校と複合化されることが決定している。</li> <li>・ <b>耐震性能無し（建替前提のため耐震補強未実施）</b></li> </ul>
<p>東部公民館</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昭和48年に建設されており、老朽化が進んでいる。</li> <li>・ 指定緊急避難場所に指定されている。</li> <li>・ <b>耐震性能無し（平成30年度耐震補強実施予定）</b></li> </ul>

指定避難所：災害の危険があり避難した住民等が、災害の危険がなくなるまで必要な期間滞在し、または災害により自宅に戻れなくなった住民等が一時的に滞在することを想定した施設

指定緊急避難場所：災害の危険から命を守るために一時的に避難をする場所

【地区利用型施設一覧】（前回資料と同じ内容）

施設用途	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	老朽化度	危険区域該当		指定避難所	指定緊急避難場所	防災設備の有無				市の支出				市の収入 (千円)	市の負担額 (千円)	面積あたり市負担額 (円/㎡)	利用者数			平均園児数 (人)	平均児童・生徒数 (人)	貸部屋等利用率 (%)	ハード評価 (偏差値)	ソフト評価 (偏差値)
					津波浸水	土砂災害			防災備蓄用品	非常用発電装置	非常用通信装置	災害用電話配線	施設に係るコスト (千円)	事業運営に係るコスト (千円)	人に係るコスト (千円)	指定管理料 (千円)				3年平均 (人)	1日あたり平均 (人/日)	面積あたり1日あたり平均 (人/㎡・日)					
小学校	蒲郡南部小学校	6,826	S24	2.5			○	○	○	○	○	○	25,334	8,452	2,700	0	93	36,392	5,331	-	-	-	-	341	-	45.5	51.4
	蒲郡東部小学校	5,129	S41	2.3			○	○	○	○	○	○	13,463	8,113	2,700	0	93	24,183	4,715	-	-	-	-	300	-	50.1	51.7
	竹島小学校	5,973	S49	2.7			○	○	○	○	○	○	18,260	8,485	2,700	0	93	29,352	4,914	-	-	-	-	332	-	45.9	51.7
中学校	蒲郡中学校	9,336	S36	2.3			○	○	○	○	○	○	27,595	10,284	8,300	0	93	46,086	4,936	-	-	-	-	517	-	45.8	51.5
保育園	東部保育園	793	S44	2.9			○		○		○		3,305	9,305	34,100	0	13,242	33,468	42,188	-	-	-	60	-	-	42.6	58.3
	府相保育園	1,112	S46	2.7	○								4,131	25,143	84,067	0	25,221	88,120	79,223	-	-	-	106	-	-	47.6	45.7
	南部保育園	1,088	H24	1.0			○		○				5,332	23,875	70,933	0	22,659	77,481	71,202	-	-	-	97	-	-	72.6	48.1
	みどり保育園(私)	1,401	H8	2.2								○	0	100,302	0	0	0	100,302	71,592	-	-	-	110	-	-	58.4	47.0
児童館	がまごおり児童館	577	H24	1.2				○					882	3,051	8,100	0	1,646	10,387	18,007	24,225	82.1	0.142	-	-	-	71.4	53.3
公民館	蒲郡公民館	806	H26	1.0				○	○		○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	73.4	-
	小江公民館	677	S50	3.2				○	○		○		290	0	0	5,810	0	6,100	9,005	13,086	44.4	0.065	-	-	21.1	43.5	48.1
	南部市民センター(府相公民館)	876	S39	3.4		○							751	1,569	2,152	7,075	798	10,749	12,264	13,774	44.9	0.051	-	-	23.2	42.2	41.0
	東部公民館	667	S48	3.0				○	○		○		532	0	0	5,844	0	6,376	9,555	29,845	98.7	0.148	-	-	16.5	46.2	52.7

出典：平成 26 年度蒲郡市公共施設白書

※複数の建物で構成されている施設の築年数は、最も建築年の古い建物をもとに掲載しています。

※「危険区域該当」における「津波浸水」は平成 26 年 5 月 30 日発表 愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査に基づく津波浸水区域を指します。

※「土砂災害」は愛知県による土砂災害特別警戒区域を指します。

※「非常用発電装置」は自家発電装置ならびに小型発電機を指します。

※「非常用電話配線」は災害時優先電話を指します。

※市の支出・収入・負担額及び利用状況の値は 3 カ年度（平成 23～25 年度）の平均値を掲載しています。（蒲郡公民館は平成 26 年度に建築されたため、データを掲載していません。）

## 課題解決に向けた視点の整理

- 第1回ワークショップでいただいたご意見が、どのような視点で発言いただいているのか、事務局で整理しました。
- まちづくりや公共施設に関していただいたご意見は、8の視点に分類することができますと考えられます。

視 点	ご意見要約
① 地域での活動・交流の盛り上がり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行政区と学区が異なり、地元の行事や子ども会に参加しにくい。</li> <li>● 若者をはじめ多世代に集まってもらうための工夫が必要。</li> </ul>
② 学校教育環境の適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもの減少が予測されるため、学校の統廃合が教育的視点から必要。</li> <li>● 子どもの通学や地域とのつながりなども含めて考えるべき。</li> </ul>
③ 子育てしやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保育園・児童館と小学校などの子育て関連施設は、隣接し、連携しやすい位置にあると便利で効率的。</li> </ul>
④ 高齢者のにぎわい	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者が利用する施設と他の機能を持つ施設が複合化すると相乗効果が生まれるのではないかと。</li> </ul>
⑤ 防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 防災・防犯を考えた施設やまちづくりが必要。</li> </ul>
⑥ 利便性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コミュニティバスの導入を含め利用者の利便性の確保が必要。</li> <li>● 駐車場不足や渋滞も考えるべき。</li> </ul>
⑦ 将来負担の縮減	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人口減少に伴い施設を減らす必要があるのではないかと。</li> <li>● 複合化を行えば効率的だ。</li> </ul>
⑧ 運営の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 情報発信やイベントなどソフト面での工夫が必要。</li> </ul>
⑨ . . .	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> </ul>

※皆様のご意見をどのように本資料の形に整理したかについてはp.49～52「第1回ワークショップでいただいたご意見の整理」をご覧ください。

## 第1回ワークショップでいただいたご意見の整理

- 第1回ワークショップでは、様々な観点からワークショップの進め方や蒲郡南地区の課題等についてご意見をいただきました。
- いただいたご意見がどのような視点に基づいているのかを事務局において整理し、下表のとおり分類しました。
- 「回答を用意しています」としている項目については、p.21～33の「ご質問等への回答」で、事実関係や市の考えなどの回答を用意しています。
- 「進め方についてのご意見」としている項目は、今後のワークショップ等の運営にあたり特に留意すべき事項として整理します。
- まちづくりや公共施設に関するご意見については、次の①～⑧に分類し、この分類に基づき、p.48「課題解決に向けた視点の整理」を作成しました。

## 【第1回ワークショップでのご意見の分類】

- ①地域での活動・交流の盛り上がり ②学校教育環境の適正化 ③子育てしやすい環境づくり ④高齢者のにぎわい  
⑤防災・防犯 ⑥利便性の確保 ⑦将来負担の縮減 ⑧運営の改善

※ここでご意見をいただいた内容について、公共施設の将来を考えていくことを通じて解決していきたいと市は考えています。

## (1) 進め方、公共施設マネジメントの取組みについてのご意見

区 分	第1回ワークショップでいただいたご意見	分 類
公共施設マネジメント 実施計画の考え方	将来的に人口が減少するという理由で公共施設を減らすと、さらに人口が減ってしまい先細りになってしまう。人口を増やすことを考えた公共施設のあり方を検討したい。	公共施設マネジメントの方針に関するご意見
	駅前地区は人口が必ずしも減少するというだけでもないはずである。また、人口密度を踏まえると、現状の保有面積が多いとは言えないのではないかと。必要な施設はあるので、単純に施設を減らす、3割床面積を縮減するといった議論ではなく、各施設の機能や役割を見極めながら存続の有無を考えていきたい。	回答を用意しています 進め方についてのご意見
	将来的に市の人口が減少するので公共施設を減らす必要があることは理解できたが、市の中心部であり、津波や液状化の影響も心配ない本地区は、既に宅地開発されている場所もある。市全体と人口減少の度合いも異なるだろう。このことから施設が多いのは当然のことであり、一律に3割縮減という考え方には違和感がある。	公共施設マネジメントの方針に関するご意見
	コスト削減を大前提とした検討は避けて、将来の蒲郡南地区の地域づくりのためになる話合いをしていきたい。	公共施設マネジメントの方針に関するご意見
	市全体で公共施設を3割縮減する方針が妥当な考えなのかを理解するため、その算定の根拠を示してほしい。	回答を用意しています
	人口が今後3割減るのだとすると、公共施設の面積も3割以上減らす必要があるのではないかと。	⑦将来負担の縮減
	地区個別計画は、いつ実行されるのか。10年後か30年後かによって考え方や優先順位が異なってくる。	回答を用意しています
	市全体だけでなく、地区ごとの正確なデータ（例：高齢者数や児童生徒数、施設ごとの支出や収入など）や情報を出してもらい、蒲郡南地区や地区内の各地域の現状や課題、歴史的背景やこれまでの経緯を踏まえて議論を進めたい。	回答を用意しています
地区個別計画策定に向けた検討の進め方	中学校区ごとに公共施設の再編を考えるとということだが、学校区ごとに検討した再編計画を市全体としてひとつに合わせた時に、果たして整合性やバランスのとれた計画になるのかが心配である。	公共施設マネジメントの方針に関するご意見
	蒲郡南地区は小学校が3校あり、公共施設のなかで大きな割合を占めている。各地区で一律に公共施設を3割縮減することが絶対だとしたら、この地区は小、中学校の統廃合を前提に話を進めなくてはならない。統廃合を考える前に現在の学校の空教室の利用のあり方を検討するなどして、統廃合をしないで済む方法を探りたい。	進め方についてのご意見
	全市利用型施設は、今回のワークショップで検討する施設の対象外になっているが、生きがいセンターや生命の海科学館などの全市利用型施設は、地区利用型施設としての機能を担っていたり、今後、担う可能性も出てくるだろう。全市利用型施設のなかでも地区利用型施設の機能や配置に影響を及ぼすであろう施設については、併せて検討対象とした方が良いのではないかと。	回答を用意しています

区 分	第1回ワークショップでいただいたご意見	分 類
地区個別計画策定に向けた検討の進め方	全市利用型施設は、今回のワークショップで検討する施設の対象外になっているが、災害時の全市利用型施設の位置づけや活用について鑑みながら、地区利用型施設の機能や配置を検討する必要があるだろう。あわせて、全市利用型施設の市の考え方や方針も示してほしい。	⑤防災・防犯 回答を用意しています
	府相公民館の移設を検討した際は、移転先をどこにするのかに集中して検討してしまったように感じている。配置や組合せだけを検討して「仏作って魂入れず」にならぬように、その施設でどのような活動をするのかなど、ソフト面も併せて検討する必要があるだろう。	⑧運営の改善
	府相公民館が竹島小学校敷地へ移設され、竹島小学校との複合施設として建設されることが決定していたことを初めて聞いた。これまでであった市民センター機能がなくなる理由も含めて、決まった経緯やその理由をきちんと地元住民に説明してほしい。また、周知徹底をしてほしい。	回答を用意しています
	蒲郡中学校区は広いので、蒲郡南部小学校区と竹島小学校区は1つのエリアと考えても良いが、東部小学校区は少し離れているため別のエリアという認識ではないか。東部地区として結束しているところもある。	公共施設マネジメントの方針に関するご意見
	地区にとって公共施設の機能や配置は、防災の視点でも重要なことである。避難所や防災倉庫の位置、また、防災備蓄品の整備状況などを把握した上で、検討していきたい。	⑤防災・防犯 回答を用意しています
	ワークショップ参加者の意見や検討結果を踏まえるだけでなく、実際に検討対象となっている公共施設（学校や保育園など）の運営を担う現場スタッフの意見も聞いた上で複合化や統廃合等、検討する必要がある。	回答を用意しています
	ワークショップ参加者だけでなく、ワークショップに参加していない高齢者の意見も聞いてほしい。その際には、老人クラブなど既存の活動や、各地区の集会所に出向いたりするなどして、高齢者の意見を聞く工夫が必要である。	④高齢者のにぎわい 回答を用意しています
ワークショップの進め方	ワークショップの検討内容は、オープンハウス（パネル展示型説明会）やかかわら版配布なども実施しながら、できるだけ広く蒲郡南地区の方々に知らせてほしい。	進め方についてのご意見
	このようなワークショップのようなまちづくりについて話し合う場に、今後増えるであろう高齢者の参加が少ないのが気になる。もう少し参加があった方が良い。	④高齢者のにぎわい 回答を用意しています
	ワークショップでは、各公共施設の機能や役割、規約や制約、管理体制、築年数や耐震補強の状況などを理解した上で、検討に入りたい。情報提供だけだとなかなか理解ができないので、説明をしてほしい。また、専門用語などは参加者にもわかりやすい表記や説明をお願いしたい。	回答を用意しています
	施設や機能をただ一緒にすればよいということではなく、その施設を複合化や統合することで現在の利用者がどのような影響を受けるのか、メリット・デメリットを整理した上で検討していきたい。	回答を用意しています
	府相公民館については、既に建設検討委員会と市の協議が重ねられ、竹島小学校敷地への移設と竹島小学校との複合施設として建設される方針があるため、今回は前提条件として検討を進めることになっているが、本来ならば地区利用型施設として整合を図りながら一体的に検討するべきものであると思う。	回答を用意しています

## (2) 蒲郡南地区の公共施設の課題に関するご意見

区分	第1回ワークショップでいただいたご意見	分類
地区のまちづくりの方向性	公共施設マネジメントについては、既に策定されている「まち・ひと・しごと総合戦略」をはじめとした、市の上位・関連計画を把握し、まちづくりの視点を持って検討する必要がある。	公共施設マネジメントの方針に関するご意見
	子育てしやすく、暮らしやすいまちを目指せば、人が移り住んでくれるようになると思う。	③子育てしやすい環境づくり
	現在の課題だけでなく、中長期的、将来的な地域の課題を想定し、課題解決のための方向性を検討しながら議論を進めていきたい。	進め方についてのご意見
公共施設の現状や今後について気になること (公共施設全般)	府相公民館が竹島小学校との複合施設とすることを前例として、今後、他の公民館と小学校も複合化をはかれば、公共施設を減らすことができ効率的である。他の施設は府相公民館と竹島小学校のように距離もなく、やりやすくて良いのではないか。	⑦将来負担の縮減
公共施設の現状や今後について気になること (公共施設全般)	児童館や小学校、小学校や保育園等の関連する施設は、隣接していたり、連携しやすい位置にあると利用者にとっては便利で効率性を高めることができる。子育てしやすい、生活しやすい地域につながるのではないか。	③子育てしやすい環境づくり ⑥利便性の確保
	子育て機能を持つ施設や、高齢者が利用する施設を複合化すれば、新たな交流が生まれて相乗効果につながる。居住者も増えるのではないか。	①地域での活動・交流の盛り上がり ③子育てしやすい環境づくり ④高齢者のにぎわい
	公共施設と民間施設が担う役割を整理した上で、場合によっては、公共施設の管理・運営を民間に任せることも検討し、民間事業者と連携をとることも考えてもよいのではないか。また、学校の空き教室等を活用して、人が大勢集まるような仕組みをつくることで、収入につながるようなことも検討していきたい。	⑦将来負担の縮減 ⑧運営の改善
	全体的に公共施設の情報や案内が不足している。地区外からの転入者は公共施設の機能や使い方をわからない人もいるだろう。利用しやすくするための情報提供や工夫をしていく必要がある。	⑧運営の改善
	地区利用型施設の再編については、地区のまちの状況(変化)、小中学校の空き教室や各公共施設の利用率等の現状を把握し、さらには地区内に影響を及ぼすであろう全市利用型施設の配置の方針を踏まえて検討をしていきたい。	回答を用意しています
	公共施設マネジメントの取組みをすることで、公共施設への移動が不便になるエリアに居住する方や高齢者に向けては、コミュニティバスを走らせるなどして利便性を保つなど、あわせて公共交通のあり方も検討する必要がある。	④高齢者のにぎわい ⑥利便性の確保
	コミュニティバス等の公共交通について検討する際は、ただ走らせるということではなく、再配置する施設のなかでも特に人が集まる施設や高齢者が集う場所を考えた上で、路線を検討していきたい。	④高齢者のにぎわい ⑥利便性の確保
	公共施設は全般的に駐車場が不足しており、駐車できずに施設を利用できないという問題も発生している。	⑥利便性の確保
	公共施設が集中すると、道路渋滞が生じて交通事故の危険性が増すのではないかと心配である。	⑤防災・防犯 ⑥利便性の確保
公共施設の現状や今後について気になること (小学校・中学校)	蒲郡南地区は、公共施設のなかで学校の占める割合が高い上に、今後、人口減少に伴い児童数、生徒数の減少も予測される。学校の統廃合等で適正な規模にしていくことは、公共施設マネジメントの視点からも教育的視点からも必要ではないか。	②学校教育環境の適正化
	小中学校の児童生徒数の推移だけでなく、将来の増減見込みを把握した上で、統廃合も含めた小中学校のあり方を検討したい。	②学校教育環境の適正化 回答を用意しています
	竹島小学校に府相公民館が移設し複合施設となることで、不特定の人たちが施設に入出りでき、防犯面での不安がある。学校にその他の公共施設を複合化する際は、安全性が保たれるよう、十分に配慮してほしい。	⑤防災・防犯

区分	第1回ワークショップでいただいたご意見	分類
公共施設の現状や今後について気になること (小学校・中学校)	行政区と学校区が異なることで、所属するコミュニティも学校と生活圏で変わってしまい、子どもに負担がかかっているのではないかと。別の小学校に通う子どもたちが地元の行事や子ども会に参加しにくい雰囲気を感じることもある。	①地域での活動・交流の盛り上がり ②学校教育環境の適正化
	行政区と学校区が異なることで、子どもに負担がかかっていると考えるのは、親世代や地域住民である。子ども同士はすぐに打ち解けているようだ。	②学校教育環境の適正化
	竹島小学校区に三谷地区の一部が含まれているが、学校区を検討する際に、歴史や文化的な背景への配慮が足りなかったと思う。	①地域での活動・交流の盛り上がり ②学校教育環境の適正化
	学校区については、子どもが通学で負担にならないかなどを第一に考え、子どもを中心として検討するものだと思う。	②学校教育環境の適正化 ⑥利便性の確保
	学校の授業や部活動などの教育の現場に、もっと市民に関わってもらうことが子どもたちの教育にも良い影響を及ぼし、市民のいきがいにもつながると思う。	①地域での活動・交流の盛り上がり ②学校教育環境の適正化 ⑧運営の改善
公共施設の現状や今後について気になること (保育園)	府相保育園、三谷西保育園は、いずれも津波浸水想定区域内に位置していることから、災害時に危険である。統廃合をした上で、例えば、西田川公園付近のような安全な場所に移ったらどうか。	⑤防災・防犯
公共施設の現状や今後について気になること (公民館)	働き盛りの若い世代は、日頃、公民館がどのような用途で利用されているのか、どのようにすれば利用できるのかがわからない。また、運営側からすれば、若い世代が公民館でどのようなことをしてほしいのかがわからない。高齢者の利用だけでなく、若者をはじめとした多世代に集ってもらうためには、マルシェの開催などソフト的な展開も工夫しながら取り組んでいく必要がある。	①地域での活動・交流の盛り上がり ⑧運営の改善
	公民館の利用については、夜間利用ができたり、市の窓口業務を対応するなど、もう少し自由に柔軟に利用できるように制度を見直し、利便性が増せば利用率もあがるのではないかと。	⑧運営の改善
	府相公民館は、南部市民センターとしての機能もあり貸館業務も行ってきたが、移設によりその機能が失われてしまう。貸館機能をどのように維持していくのかを考えていきたい。	⑧運営の改善
	公民館については、利用者数や収入の状況などを踏まえて配置や規模を検討する必要がある。	進め方についてのご意見
公共施設の現状や今後について気になること (児童館)	児童館は、平日は母子で利用ができ、土曜日は母親不在時に父子でも訪れて子どもを遊ばせることもできる。子育て世帯にとって、児童館は重要な施設である。	③子育てしやすい環境づくり
公共施設の現状や今後について気になること (その他)	西部小学校は、比較的空き教室もあり、読み聞かせなどの市民活動も盛んで周辺環境も静かである。例えば、市立図書館の機能を移設し、図書館跡地は別の機能を検討したらどうか。	その他ご意見

(3) その他のご意見

区分	第1回ワークショップでいただいたご意見	分類
その他	竹島小学校に府相公民館が移設されるということは、小学校は統合されないということだと思い安心した。また、竹島小学校について三谷地区でも検討するという点についても特に問題ないと思う。	その他ご意見
	ワークショップの中で疑問が出てきたときには、市役所の担当者に質問をしても良いのか。	回答を用意しています
	そもそも「公民館」とはどんな役割の施設なのか。	回答を用意しています
	公民館は当該地区の人しか使えないのか。	回答を用意しています

## 本日の検討内容

- ① 第1回ワークショップで出された意見を反映し、皆さんが大切と思っている8の視点をまとめました。皆様のご意見は反映されていますか。追加すべき視点はありますか。

(WSを通じて得られた課題の視点)

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| ①地域での活動・交流の盛り上がり | ②学校教育環境の適正化 |
| ③子育てしやすい環境づくり    | ④高齢者のにぎわい   |
| ⑤防災・防犯           | ⑥利便性の確保     |
| ⑦将来負担の縮減         | ⑧運営の改善      |

- ② 各々の視点について、課題を解決するためにどのようなことに具体的に取り組んでいくとよいでしょうか。

## 次回ワークショップのご案内

「第3回蒲郡南地区まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」を以下のとおり開催いたしますので、ご参加下さいますようお願いいたします。

### 1 日時

平成30年10月7日（日）

午後1時30分～午後4時30分（開場：午後1時15分）

### 2 会場

蒲郡中学校 本館 3階図書室

### 3 お願い

- ・ 次回ワークショップの資料を郵送で事前に配布いたしますので当日ご持参下さい。
- ・ 欠席される場合は、事務局までご連絡願います。

### 【ワークショップ事務局】

蒲郡市総務部財務課 担 当：小野・大森・星野

電 話：0533-66-1158

ファクス：0533-66-1183

E-mail：zaimu@city.gamagori.lg.jp